



2021年9月期 決算説明会

(2020年10月1日～2021年9月30日)

シミックホールディングス株式会社

2021年11月11日



決算概要

取締役CFO
望月 渉

事業セグメントとグループ各社

青字表記は海外

セグメント	商品・サービス	シミックグループ各社（2021年9月末時点）
CRO事業	製薬企業の医薬品開発支援、分析化学サービス	シミックホールディングス(株) シミック(株) シミック・シフトゼロ(株) CMIC Korea Co., Ltd. CMIC ASIA-PACIFIC, PTE. LTD. CMIC ASIA PACIFIC (MALAYSIA) SDN. BHD. CMIC Asia-Pacific (Hong Kong) Limited CMIC ASIA-PACIFIC (PHILIPPINES), INC. CMIC ASIA-PACIFIC (AUSTRALIA) PTY LTD CMIC ASIA-PACIFIC (THAI LAND) LIMITED CMIC ASIA-PACIFIC (VIETNAM) COMPANY LIMITED CMIC (Beijing) Co., Ltd. CMIC DATA SCIENCE VIETNAM COMPANY LIMITED シミックファーマサイエンス(株) CMIC, INC.
CDMO事業	製薬企業の医療用医薬品及び一般用医薬品などの製剤化検討から治験薬製造、商用生産まで医薬品製剤開発・製造支援に係る業務	シミックCMO(株) シミックCMO西根(株) CMIC CMO Korea Co., Ltd. CMIC CMO USA Corporation シミックバイオ(株)
CSO事業	製薬企業の医薬品等の営業・マーケティング支援に係る業務	シミック・アッシュフィールド(株)
ヘルスケア事業	SMO（治験施設支援機関）業務、ヘルスケアサービスなど、主に医療機関、患者や生活者の医療や健康維持・増進のための支援業務並びにBPO・人材サービスに係る業務	シミックホールディングス(株) シミックヘルスケア・インスティテュート(株) シミックソリューションズ(株) シミックウエル(株)
IPM事業	グループが保有する製造販売業等の許認可（知的財産）とバリューチェーンを組み合わせた新たなビジネスソリューションを製薬企業等に提供する事業	シミックホールディングス(株) シミックCMO(株) (株)オーファンパシフィック

CONFIDENTIAL

当期の取組事項



● 中期計画（FY2019-2021）重点取組事項

- PVCモデルに加え、製造販売業の許認可を組み合わせたIPMソリューションビジネスの加速
- エリア競争力強化とグローバル化促進
- ヘルスケアビジネスの創出

● Healthcare Revolution 2.0（2020年7月～）

- 医薬品を中心としたビジネスモデルから、新たなヘルスケアビジネスを創出するモデルへの転換
- 個人の健康維持・健康増進に貢献するビジネスの創出
- グループ人材のヘルスケア分野への展開を促進

2021年9月期の実績



● COVID-19対策への貢献

- 自治体のコロナワクチン接種支援の本格展開（集団接種、巡回接種）と職域接種準備
 - 新型コロナワクチン接種情報管理システム 「harmoワクチンケアwithコロナ」の活用（延べ150万人）
 - コールセンター（副反応相談対応）、人的支援（医師・看護師紹介、運営スタッフ）
- 世田谷区の介護事業所等を対象とした社会的検査をはじめ自治体のPCR検査業務受託
- 臨床試験や市販後調査、臨床研究支援、COVID-19向け医薬品製造受託
 - コロナ禍での円滑な治験促進に向け、新型コロナ感染症の治験参加患者向け専用移動サービスを開始



* harmo® : Healthcare Communication Channel



● 個人の健康維持に貢献するビジネスの創出

- 東京都の「次世代ウェルネスソリューションの構築事業（事業化促進プロジェクト）」に harmo[®]事業が採択
- 国際医療福祉大学・高邦会グループ主催のヘルスケアオープンイノベーションに参画未病予防サービスの展開とデータ利活用によるパーソナライズドヘルスケアサービス創出へ
- MONETと、医療MaaS（Mobility as a Service）に特化した事業開発プログラム「MONET LABO『医療』」開始
- ENEOS株式会社と暑熱ストレス計測システム「ロブセンス（lobesense）」の共同開発契約を締結
- 医療環境のDX化への対応に関する取組「PSP（患者サポートプログラム）のデジタル化支援」

* MONET：ソフトバンク(株)、トヨタ自動車(株)等の共同出資会社

CONFIDENTIAL



● 医薬品・医療機器開発のスピード化・効率化促進

- ニューノーマル時代の新たな治験様式の提案（デジタル活用）
 - ・ 臨床試験でのharmo®活用の実証実験を進行中
 - ・ デジタルセラピューティクスに関するコンサルティング（ビジネスコンセプトおよび開発戦略策定）、臨床試験支援
 - ・ AI医療機器の臨床試験の開発支援
- シミック、国立がん研究センターと血液がんに関する共同研究契約を締結。難治性白血病など遺伝子変異情報の活用事業を推進
- 連続生産設備導入により、治験薬から商用生産に至るスケールアップが不要となり、開発のスピード化とコスト削減に貢献（2021年5月稼働）
- バイエル薬品と、デジタル技術等の活用による臨床試験の効率化と質の向上に向けた中期的なコラボレーションで基本合意（2021年8月）
 - ・ 循環器領域の臨床試験において、harmoを用いた併用禁止薬検知システム稼働



● IPMソリューションの進展

- オーフアンパシフィックが遺伝性血管性浮腫（HAE）発作抑制薬「オラデオカプセル 150mg」の日本国内における製造販売承認を取得(2021年1月22日)、薬価収載（4月21日）
 - BioCryst Pharmaceuticals, Inc.が国内開発を実施、鳥居薬品が4月23日販売開始
- Grifols Therapeutics, LLCが「リンスパッド™点滴静注用 1000mg」の日本国内における外国特例承認を取得(2021年1月22日)、薬価収載（4月21日）
 - オーフアンパシフィックが選任製造販売業者として、承認取得を支援、7月27日販売開始

2021年9月期の実績



- **経営体制の変更（2021年4月）**

- 事業環境の変化に対し、より迅速に対応を図るため、コーポレートハブ機能の強化とグループバックオフィス機能のグループ会社への移管を実施
- 執行役員制度の廃止

- **シミックグループ、「ヘルスケアプロフェッショナル認定制度」を開始**

- 大きく変化するヘルスケア市場に対し、柔軟に対応可能な人財育成に注力
- グループのヘルスケア人材をコロナワクチン接種等に派遣

2021年9月期の実績

● 情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS） に関する国際規格取得

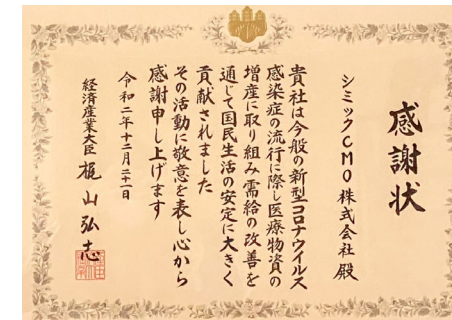


認証規格	JIS Q 27001:2014(ISO/IEC 27001:2013)
登録番号	JUSE-IR-470
認証取得事業者	シミックホールディングス株式会社 ICT部 シミック株式会社 データサイエンス事業本部 シミック株式会社 PMS事業本部
登録日	2020年11月27日

- ISMSに関する国際規格「JIS Q 27001:2014 (ISO/IEC 27001:2013)」を取得、継続的な情報セキュリティの強化や適切な運用実施

● CDMO、コロナ禍での医療物資増産に貢献した企業として 経済産業省より感謝状受領

● シミックが支援する森口エミリオ秀幸氏が 公益財団法人社会貢献支援財団の 「創立50周年記念表彰」を受賞



● シミックヘルスケア・インスティテュート、女性活躍推進の優良企業として 「えるぼし」最高位を獲得

連結損益計算書（要約）



	2020/9		2021/9		増減額	増減率
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
売上高	76,098	100.0	85,788	100.0	+9,690	+12.7
営業利益	2,605	3.4	4,920	5.7	+2,315	+88.8
経常利益	2,867	3.8	5,091	5.9	+2,224	+77.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,505	2.0	2,023	2.4	+517	+34.4
1株当たり 当期純利益	83円27銭		111円85銭			

営業外損益・特別損益・税金費用・非支配株主損益の内訳

(百万円)

	2020/9	2021/9
営業外収益内訳	555	399
受取利息	4	2
為替差益	—	190
持分法による投資利益	394	20
助成金収入	43	98
その他	113	88
営業外費用内訳	293	228
支払利息	123	133
為替差損	121	—
その他	48	95

	2020/9	2021/9
特別利益内訳	103	714
固定資産売却益	7	—
投資有価証券売却益	10	577
関係会社株式売却益	30	19
債務免除益	—	117
受取保険金	54	—
特別損失内訳	1,013	2,331
減損損失	736	2,102
固定資産除却損	142	107
投資有価証券評価損	26	122
システム解約損	108	—
法人税等	792	2,397
法人税等	1,118	3,947
法人税等調整額	△325	△1,550

セグメント別売上高および営業利益



		2020/9 (百万円)	2021/9 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
C R O 事業	売上高	34,242	34,954	+712	+2.1
	営業利益	5,052	4,364	△687	△13.6
C D M O 事業	売上高	20,832	21,196	+364	+1.7
	営業利益	△412	△ 153	+259	—
C S O 事業	売上高	8,626	8,977	+351	+4.1
	営業利益	834	890	+55	+6.7
ヘルスケア事業	売上高	9,903	17,876	+7,972	+80.5
	営業利益	583	3,590	+3,007	+515.8
I P M 事業	売上高	3,395	3,683	+288	+8.5
	営業利益	169	△ 19	△188	—
調 整 額	売上高	△901	△ 899	+1	—
	営業利益	△3,621	△ 3,751	△130	—
合 計	売上高	76,098	85,788	+9,690	+12.7
	営業利益	2,605	4,920	+2,315	+88.8

受注高・受注残高



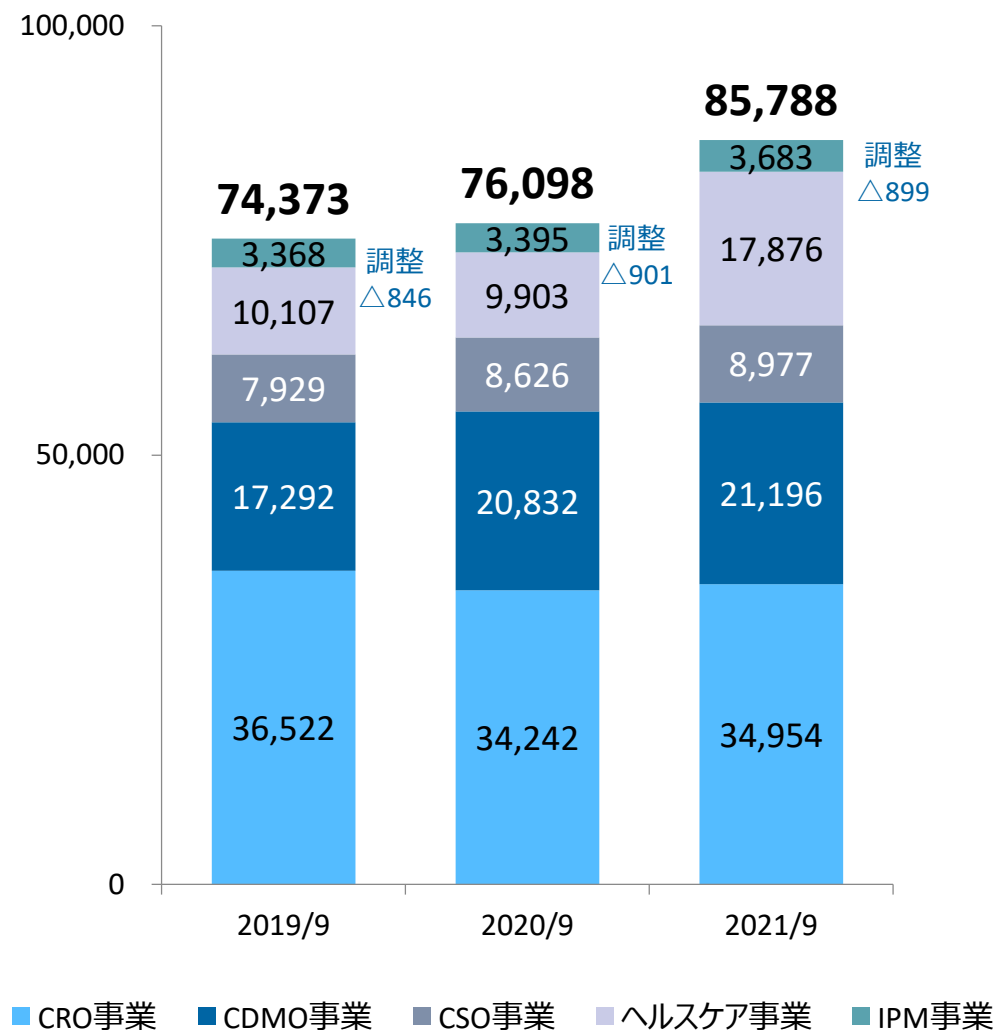
		2020/9		2021/9	
		受注高	受注残高	受注高	増減率
		(百万円)	(百万円)	(百万円)	(%)
C	R O 事業	36,852	56,608	36,883	+0.1
C	D M O 事業	20,855	5,412	21,554	+3.4
C	S O 事業	7,736	3,132	9,413	+21.7
ハ	ル ス ケ ア 事業	10,125	11,873	22,164	+118.9
合	計	75,570	77,028	90,015	+19.1
				84,920	+10.2

- ・受注高・受注残高ともに、全セグメントで前期より増加。
- ・CDMO事業の受注残高は確定注文を受けているもののみ計上。顧客からは年間ベースの発注計画等の提示を受けているが、確定注文とは異なるので受注残高には含めていない。
- ・IPM事業は受託事業と業態が異なるため、受注実績から除外している。

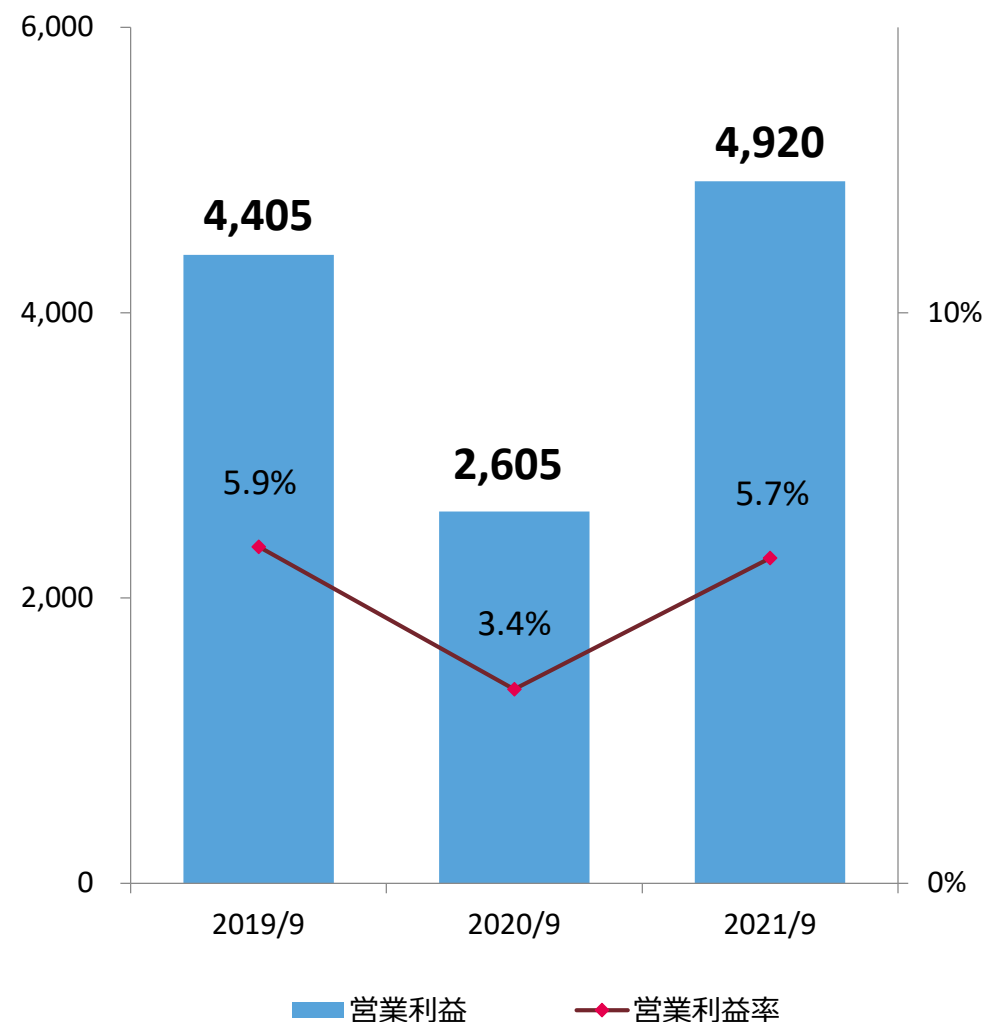
連結売上高および営業利益の推移



【 売 上 高 (百万円) 】

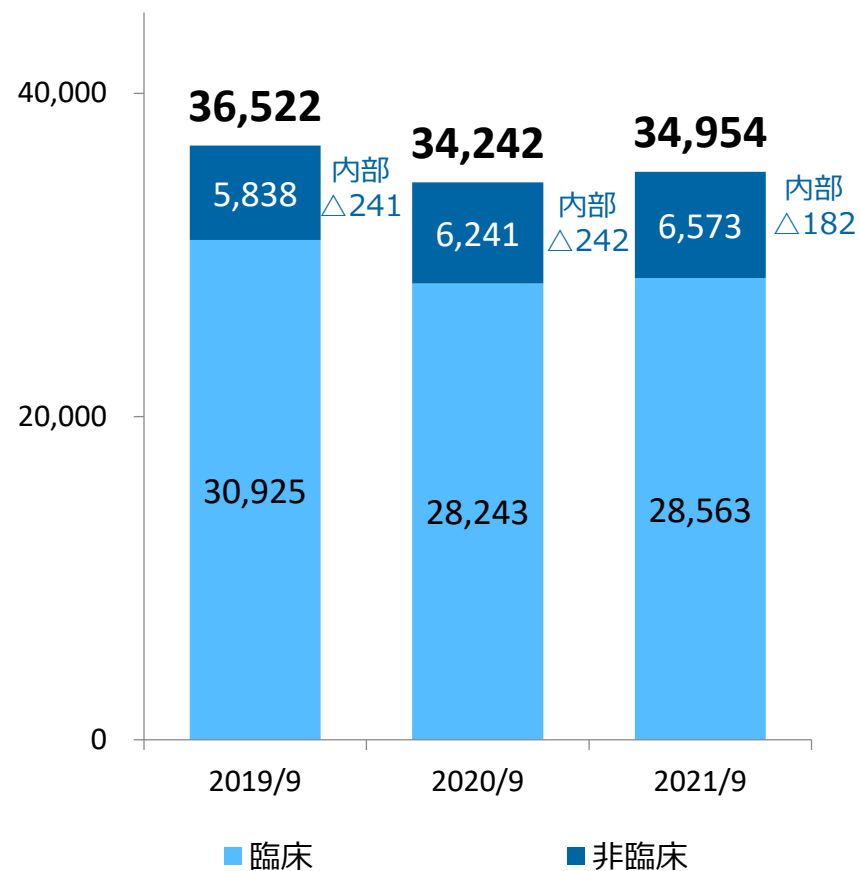


【 営 業 利 益 (百万円) 】

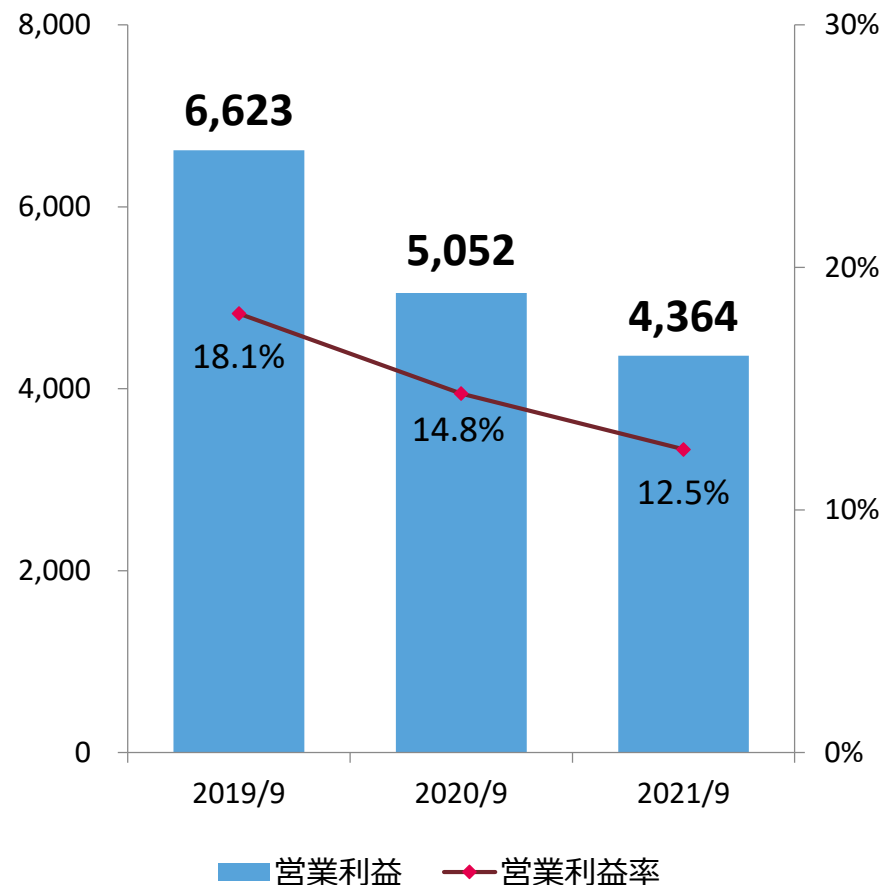


医薬品開発支援（CRO）事業

【 売 上 高 （百万円） 】



【 営 業 利 益 （百万円） 】

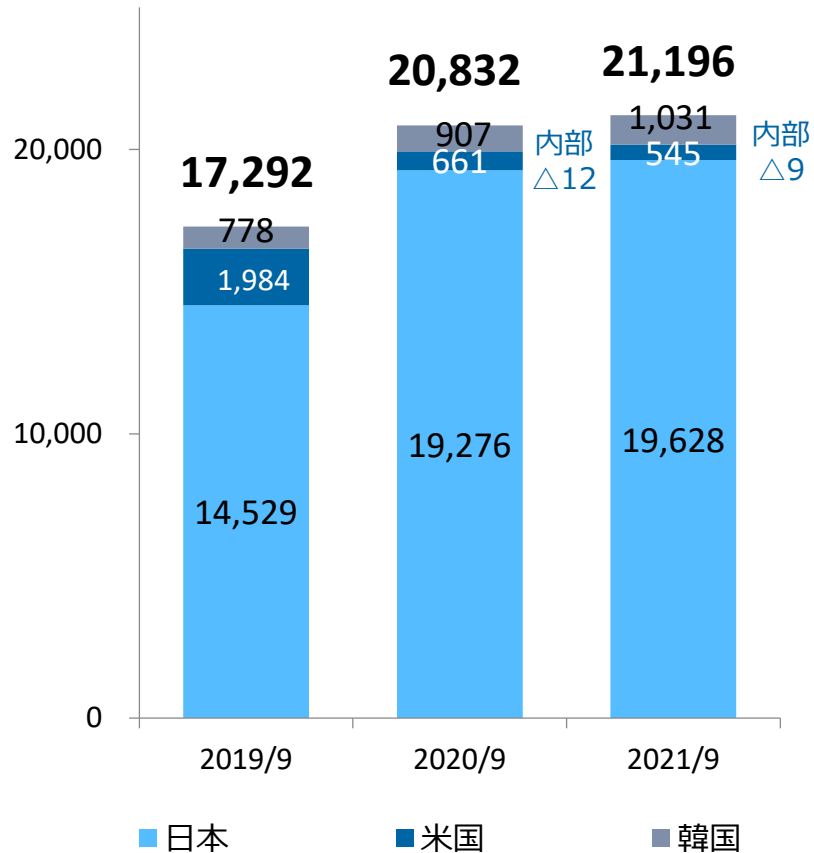


海外企業の日本市場参入や異業種のヘルスケア市場参入支援、高度化する開発ニーズ（バイオ医薬品等）への対応、非臨床から市販後までの一気通貫体制を活用し、医薬品開発のスピード最大化に取り組む。harmo®を用いた治験プロセス効率化や新たな治験様式の提案促進。売上高は、非臨床業務の伸長や新型コロナウイルス感染症関連の市販後及び臨床研究務等の新規案件獲得により、前期を上回る。営業利益は、一時的な退職給付費用の発生等により、前期を下回る。

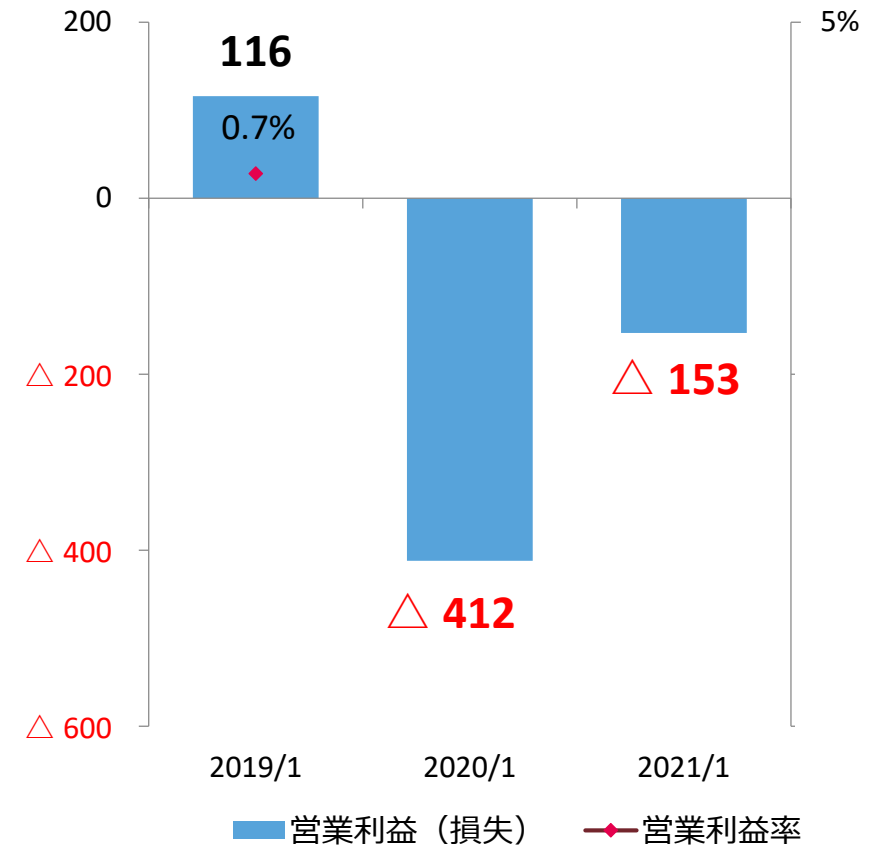
医薬品製剤開発・製造支援（CDMO）事業



【 売 上 高 （百万円） 】



【 営 業 利 益 （百万円） 】



製剤化検討から治験薬製造、商用生産まで、グローバルに展開する医薬品製造のプラットフォームとして、技術力及び品質の更なる向上とローコスト生産体制の進展、戦略的な設備投資を通じた競争力強化を図る。

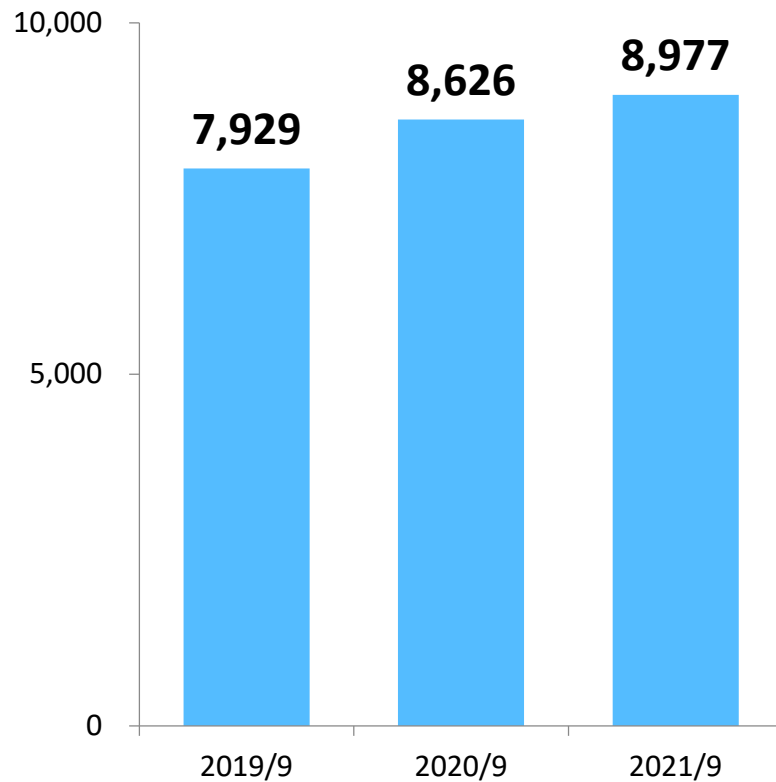
2022年9月期に生産開始が予定されている大型商用生産案件や米国における新たな施設・生産ラインの立ち上げ、新規案件の獲得に注力。

売上高は、受託生産量の増加等により、前期を上回る。営業利益は、バイオ医薬品原薬の製造受託ビジネスにかかる先行費用が発生したことから、営業損失を計上。増収の効果により損失幅は前期より縮小。

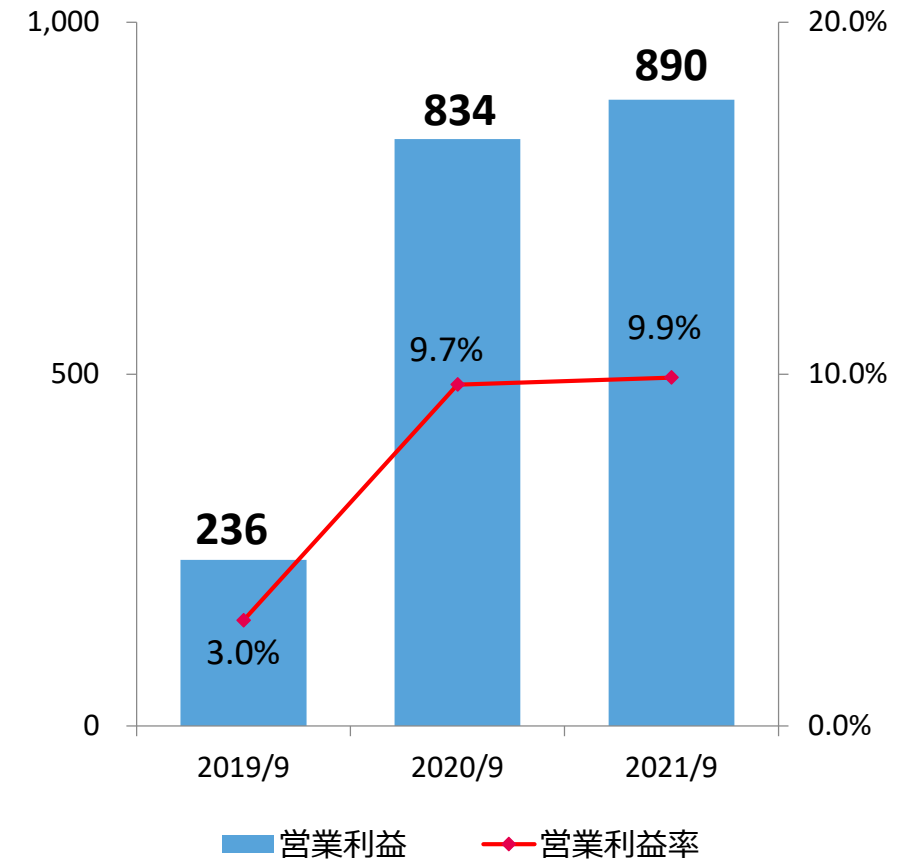
医薬品営業支援（CSO）事業



【 売 上 高 （百万円） 】



【 営 業 利 益 （百万円） 】



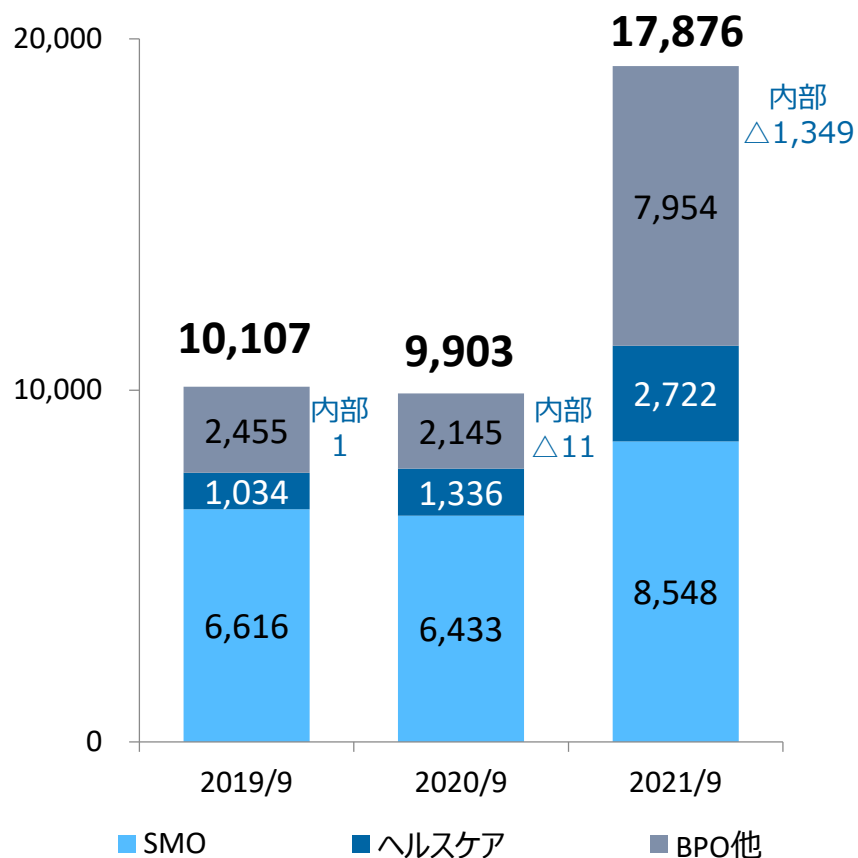
MR（医薬情報担当者）派遣業務や関連する新たなサービスに加え、メディカルアフェアーズ関連業務の営業活動を強化し、複数のコミュニケーションチャネルと多様なサービスを組み合わせた総合的なソリューションを提供。

売上高及び営業利益は、MR派遣業務における新規案件の獲得により、前期を上回る。

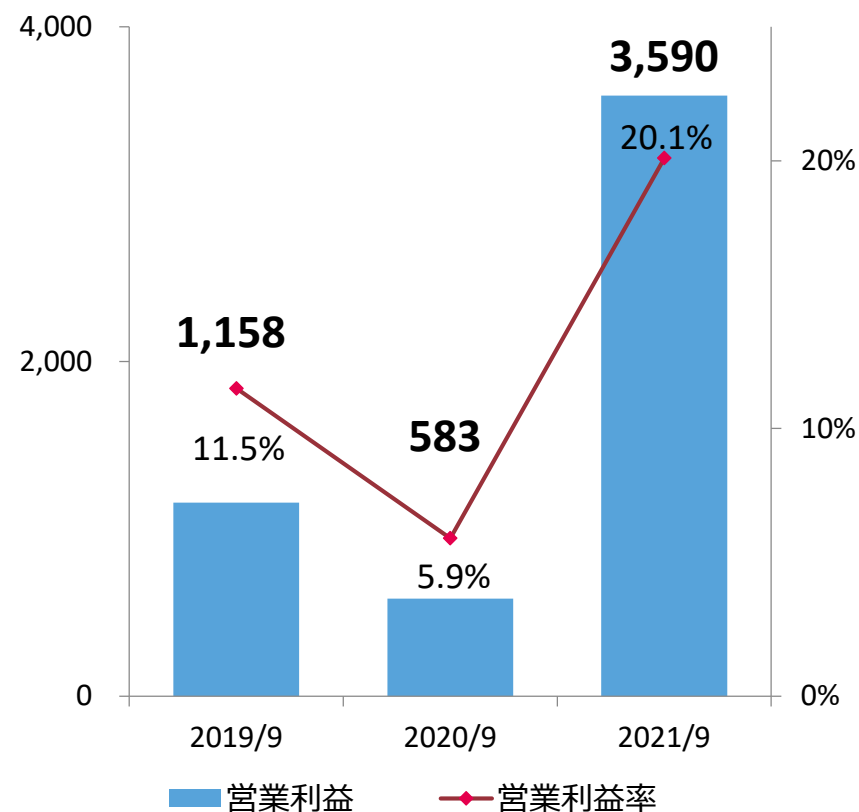
ヘルスケア事業



【 売 上 高 (百万円) 】



【 営 業 利 益 (百万円) 】

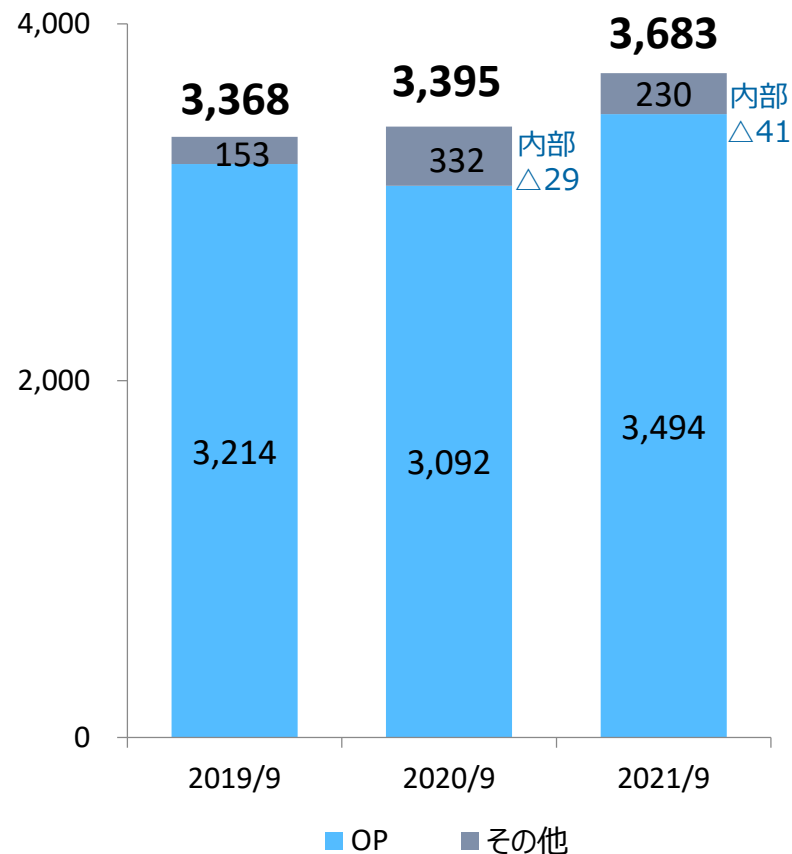


新型コロナウイルス感染症に対する有効な治療や予防手段の開発支援や、自治体によるPCR検査やワクチン接種支援に注力。Healthcare Communication Channel「harmo®」事業や、疾患の早期発見及び重症化予防に貢献するビジネスの創出に取り組む。
売上高は、ワクチン接種支援に係るBPO・人材サービス及びSMO業務等が伸長したことから、前期を大幅に上回る。
営業利益は、新たなヘルスケアビジネス創出のための先行投資を行ったものの、増収の効果により、前期を大幅に上回る。

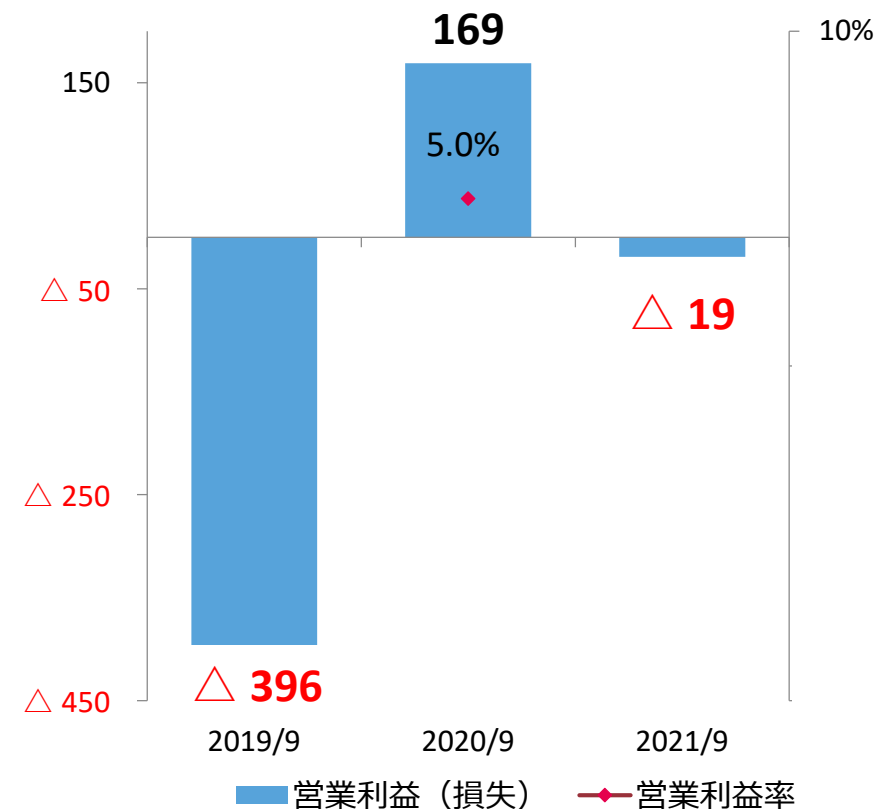
Innovative Pharma Model (IPM) 事業



【 売 上 高 (百万円) 】



【 営 業 利 益 (百万円) 】

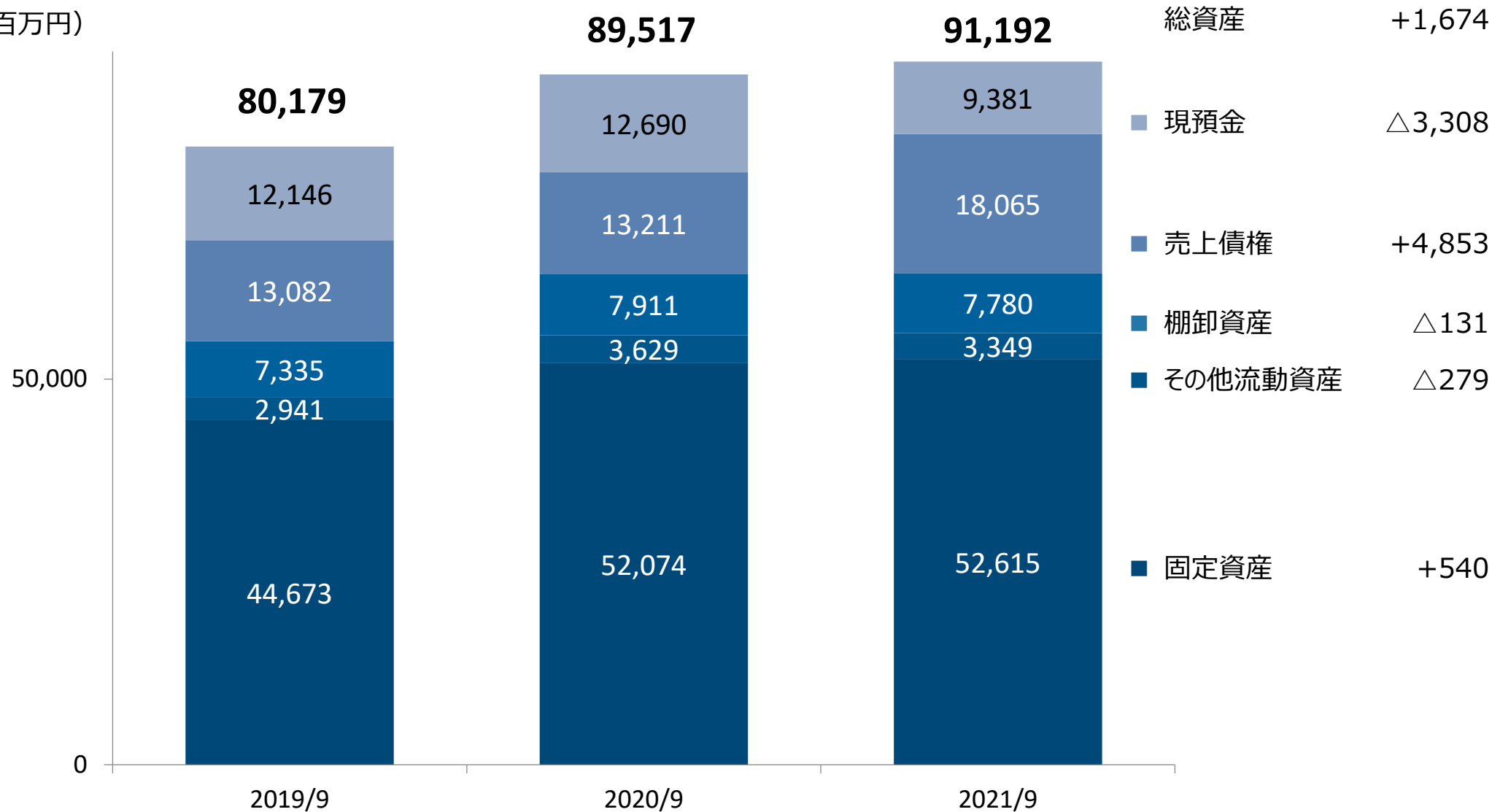


自社開発品を含むオーファンドラッグ等の販売のほか、IPMプラットフォーム提供を通じた海外製薬企業の日本市場進出支援や、製薬企業のビジネスモデル変化に応じた戦略オプションの提供等を行う。海外製薬企業からのIPMプラットフォームの活用ニーズが高まり、複数案件が進捗中。「オラデオカプセル」の製造販売承認を1月に取得。7月には選任製造販売業者として承認取得を支援した「リンスパッド」の国内販売開始。売上高は、新製品の販売により前期を上回る。営業利益は、オーファンドラッグの研究開発費の増加及び一時的な在庫評価損の計上等により、前期を下回る。

連結貸借対照表（資産の部）



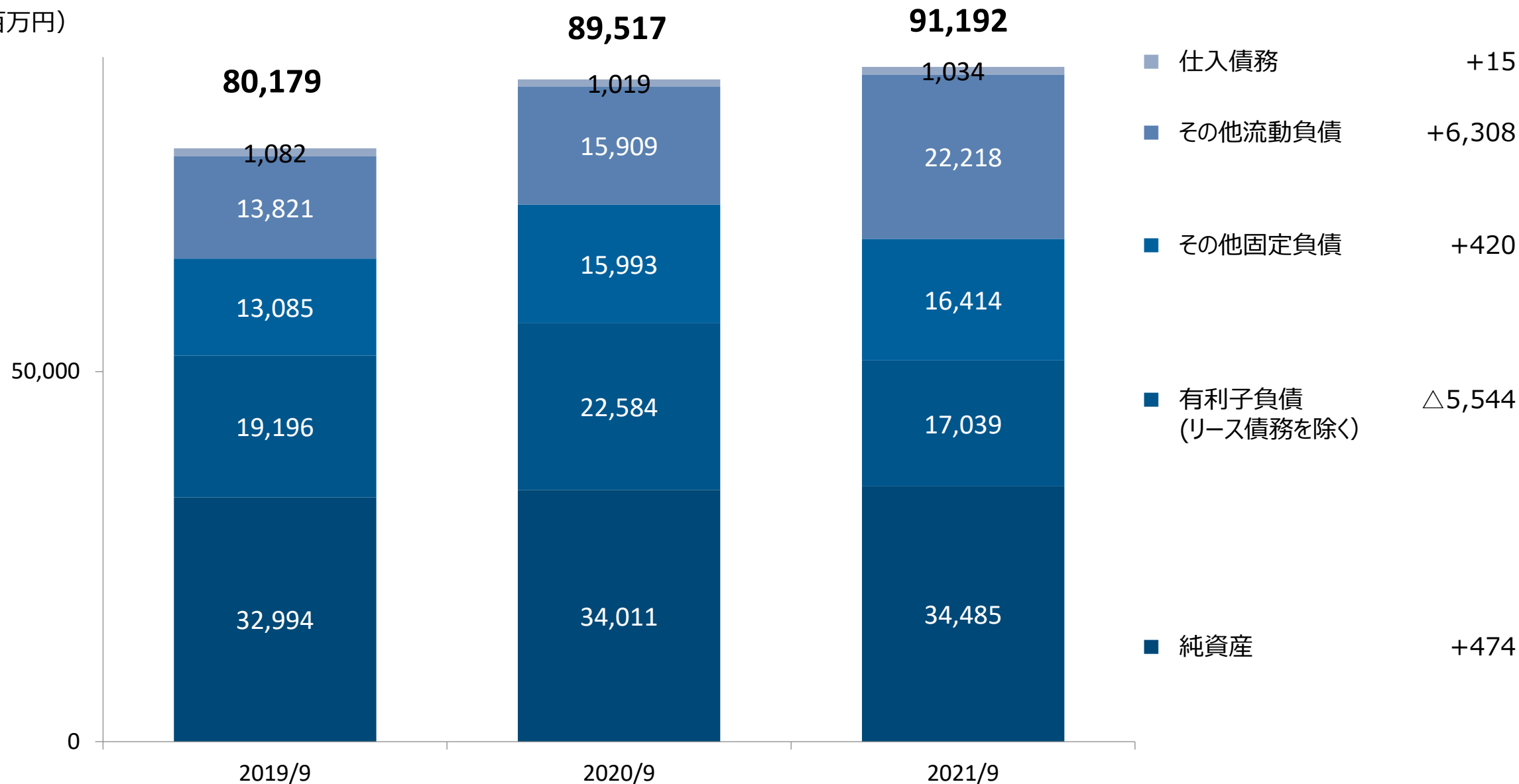
(百万円)



連結貸借対照表（負債の部・純資産の部）



(百万円)



キャッシュ・フロー



	2020/9	2021/9	(百万円) 増 減
営業活動によるCF	6,703	9,804	+3,100
投資活動によるCF	△8,542	△6,685	+1,857
財務活動によるCF	2,354	△6,348	△8,702
現金及び現金同等物に係る換算差額	42	△82	△124
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	557	△3,310	△3,868
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	1	+1
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△14	—	+14
現金及び現金同等物の期首残高	12,144	12,688	+543
現金及び現金同等物の期末残高	12,688	9,379	△3,308

【主な内訳】

(営業活動によるCF)

- ・税金等調整前当期純利益、減価償却費による資金増加等

(投資活動によるCF)

- ・CDMO事業における有形固定資産の取得による支出等

(財務活動によるCF)

- ・借入金の返済及び配当金の支払いによる支出等

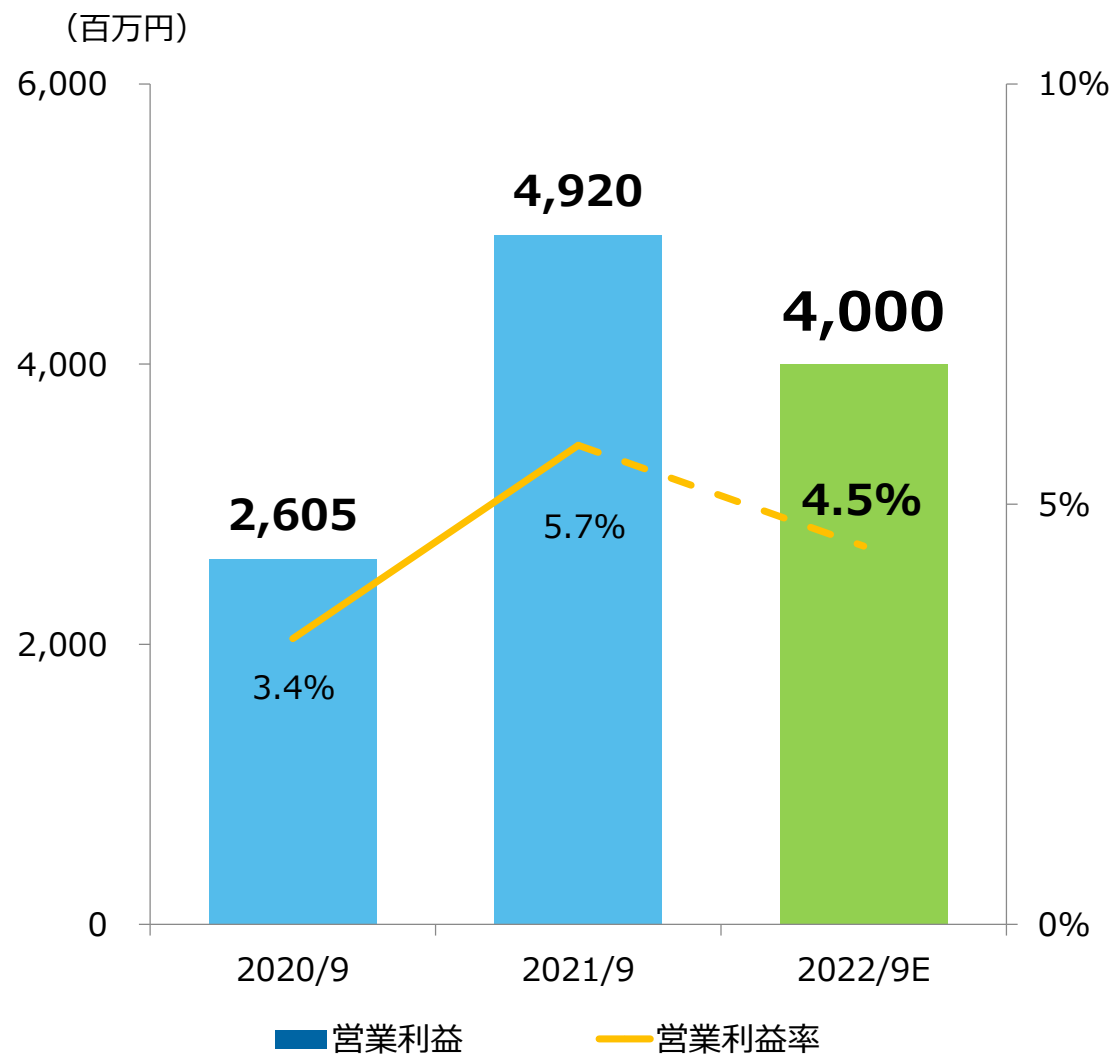


2022年9月期 業績見通し

2022年9月期 通期見通し



	2021/9 実績 (百万円)	2022/9 見通し (百万円)	増減率 (%)
売上高	85,788	88,000	2.6
営業利益	4,920	4,000	△18.7
経常利益	5,091	3,850	△24.4
親会社株主に帰属する当期純利益	2,023	2,050	1.3
1株当たり当期純利益	111円85銭	113円32銭	



* 2022/9より新収益認識基準を適用しているため、前期比増減率は参考情報として表示しております。



中期計画

(2022年9月期 ～2025年9月期)

代表取締役 会長CEO
中村 和男



前中期計画（FY2019 - FY2021）営業利益未達の理由

- 2020年コロナウイルス感染症拡大により開発遅延・中止等でCRO事業が減収
- CDMO事業（足利工場）の新注射剤棟における本格的な商用生産開始の遅れ

	2018年 9月期	2021年 9月期		
	実績	実績	中期計画	達成率
売上高	698億円	857億円	855億円	100.3%
営業利益	43億円	49億円	68億円	72.4%
営業利益率 (%)	6.2%	5.7%	8.0%	
ROE	6.5%	8.3%	12%以上	



中期計画の概要

(2022年9月期 ～2025年9月期)



Pharmaceutical Value Creator から Personal Health Value Creator へ

製薬企業のバリューチェーンを全面的に支援する独自の事業モデル

PVC（Pharmaceutical Value Creator）を持続的成長の基盤として、

『個々人の健康価値を最大化する』事業モデル

PHVC（Personal Health Value Creator）への展開を目指す

事業セグメント



財務目標



	FY2021		FY2025	
	実績		目標	目標成長率 (年率)
売上高	858億円		1,000億円	+3.9%
営業利益	49億円		70億円	+9.2%
営業利益率	5.7%		7%	
ROE	8.3%		10%以上	

※成長率は2021年9月期を起点とする



事業環境と対応



世界的に起こったコロナパンデミック



世界最大規模のパンデミック発生



- 2019年12月8日

中国の湖北省武漢で新型コロナウイルスの感染者が最初に確認された。

- 2020年1月15日

日本国内で第一例目が報告された。（武漢滞在中発熱し帰国後発症）



COVID-19感染者数・死亡者数の推移

2021年11月7日

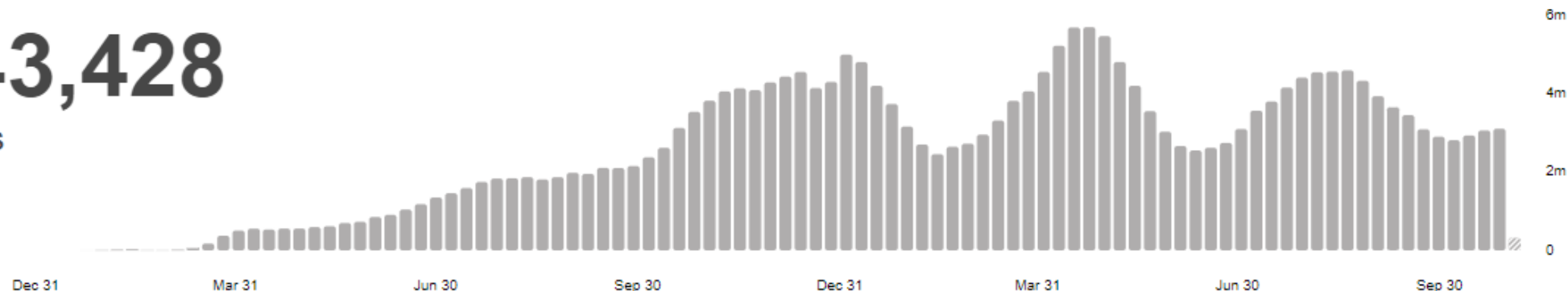


世界の感染者はこれまでに累計2億人を超え、死亡者数は500万人を超えている。

感染者数

249,743,428

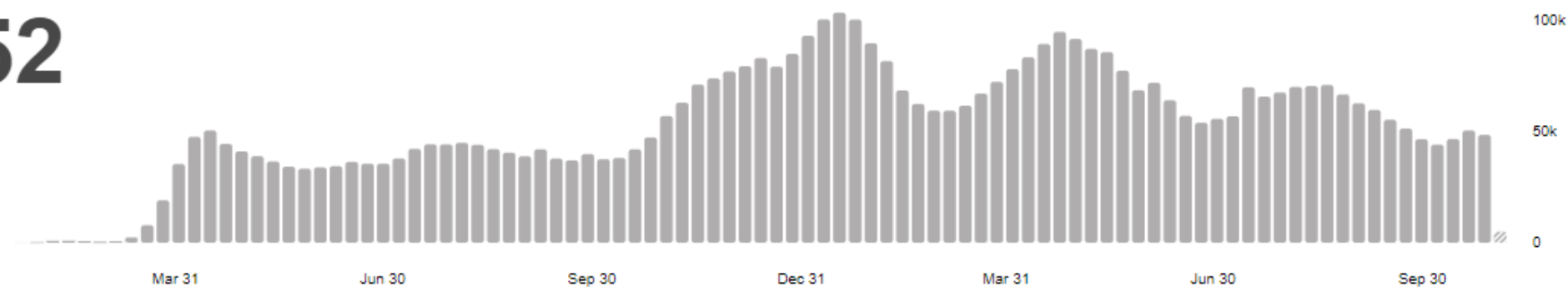
confirmed cases



死亡者数

5,047,652

deaths



Source: World Health Organization

Data may be incomplete for the current day or week.



() 最初に見つかった国

VOC = 懸念される変異株

▽感染力が強まる
▽感染した際の重症度が上がる
▽ワクチンの効果が下がる
などの性質の変化が起こったと
みられる変異ウイルス

 α

アルファ
(イギリス)

 β

ベータ
(南アフリカ)

 γ

ガンマ
(ブラジル)

 δ

デルタ
(インド)

VOI = 注目すべき変異株

▽感染力やワクチンの効果などに
影響を与える可能性がある変異ウ
イルスや
▽国や地域を越えて見つかった
変異ウイルス

 η

イータ
(イギリス)

 ι

イオタ
(アメリカ)

 κ

カッパ
(インド)

 λ

ラムダ
(ペルー)

 μ

ミュー
(コロンビア)

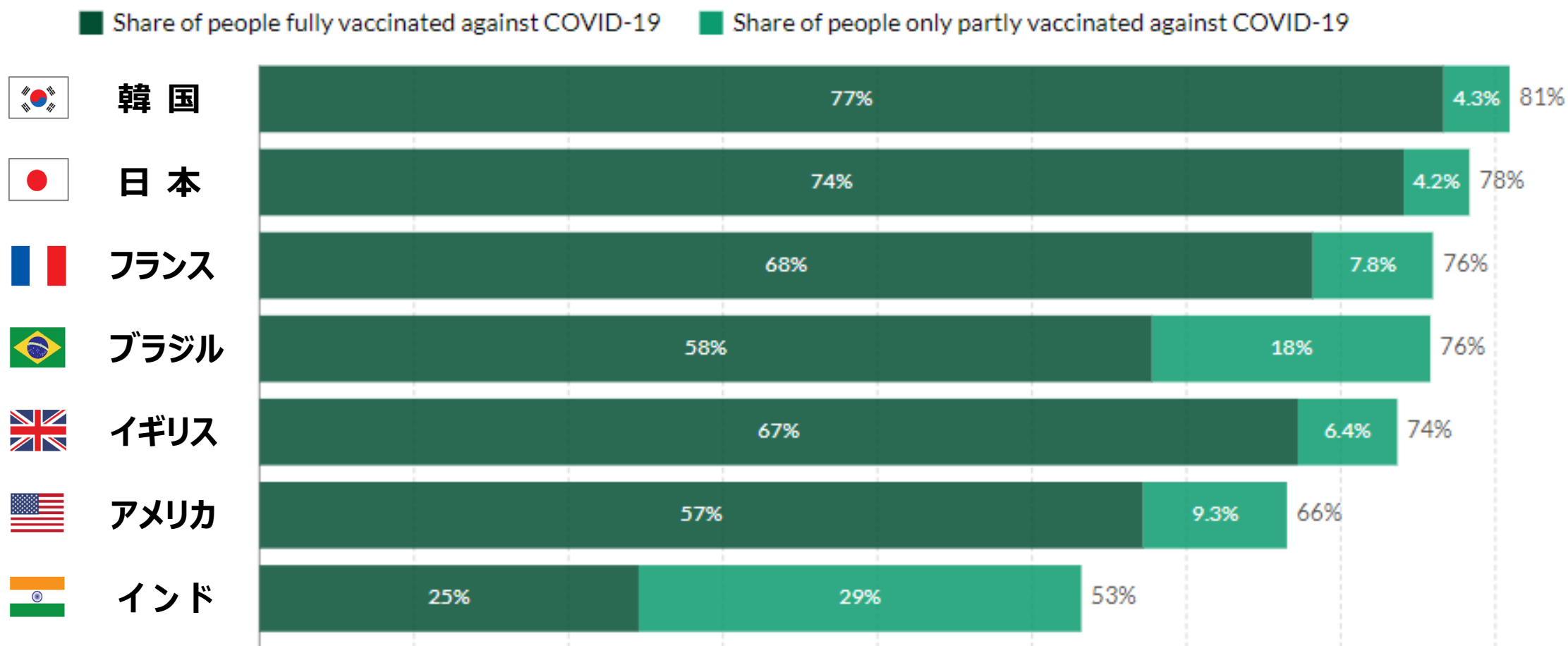
感染力が強いとされる変異株が広がり、感染が再拡大

世界のワクチン接種状況

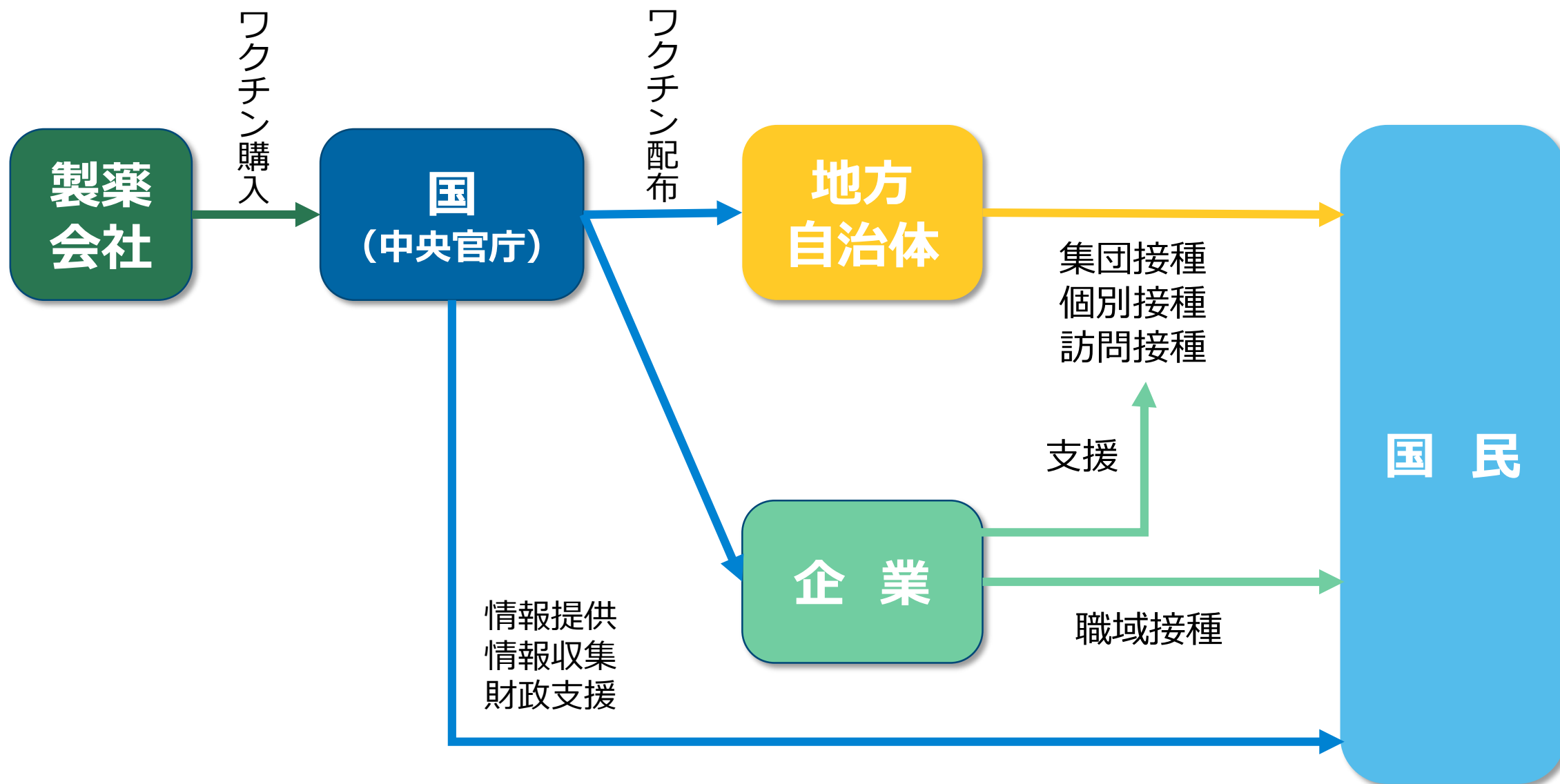


世界人口の51%がCOVID-19ワクチンを少なくとも1回接種しています。

世界で72.8億回の投与が行われ、現在、毎日2,656万回が投与されています。



コロナワクチン接種におけるヘルスケアの担い手



今期自治体支援事例 (*開示可能先一部)

世界的リゾート

羊蹄山麓 7 町村
包括連携協定

ワクチン接種

羊蹄山麓
7町村



地方都市

山梨県包括連携協定

ワクチン接種

山梨県

東京都



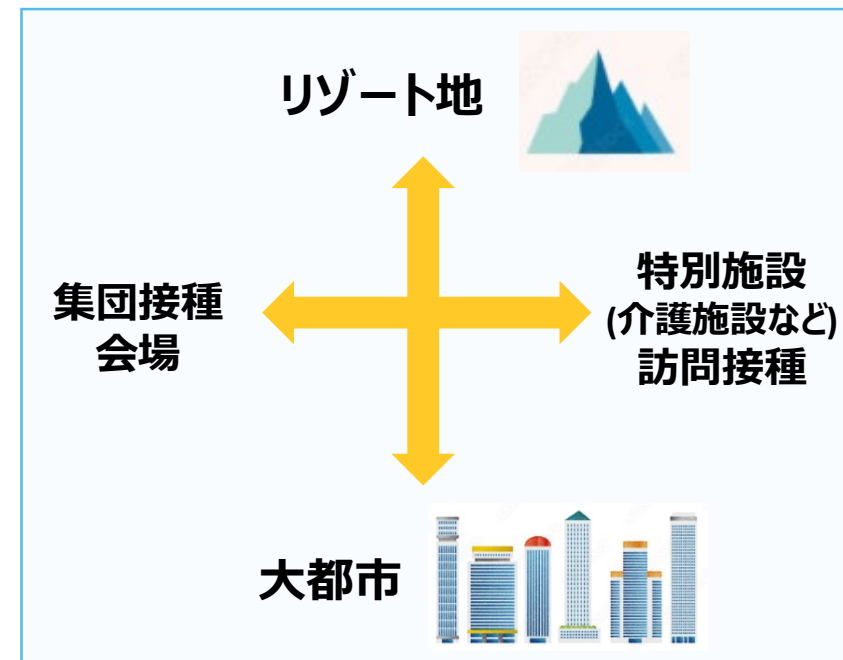
受託自治体 : 35市区町村

harmo導入 : 20市区町村

首都圏

世田谷区、大田区、江東区、杉並区、昭島市、福生市

PCR検査業務
ワクチン接種支援 ...



幅広いサービス

- 抗原・PCR検査
- ワクチン接種
- 疫学調査
- コールセンター
- harmoワクチンケア with コロナ



【特徴】

1 ワクチン接種間隔・種類のチェック

harmoワクチンケアwithコロナ
COVID-19ワクチン
ロット番号 T007242 最終有効年月日 2022年09月30日 商品コード 14987185810101
券種 回数 請求先 券番号
接種 2 131032 2745968353
メッセージエリア
・接種間隔が不足しています
1回目接種との間隔が28日に満たないため
登録を行いません(1日)

2 個人情報とワクチン情報を分離 した安全なデータ管理システム (特許6202152号)



3 正確な情報に基づいた被接種者 のフォローアップ

お知らせ
あなたが接種を受けたCOVID-19ワクチンは安全です
あなたが接種を受けたCOVID-19ワクチンは安全です
本日(2021年8月26日)、厚生労働省よりCOVID-19ワクチン



20の自治体
に導入

【成果】

1 ワクチン接種間隔・種類のチェック

32件のワクチン接種
医療事故を防止
(接種間隔・ワクチン種類間違い)

2 個人情報とワクチン情報を分離 した安全なデータ管理システム

延べ150万人分の
ワクチン接種情報を管理

3 正確な情報に基づいた被接種者 のフォローアップ

ワクチンの異物混入について、
厚労省が発表した**当日**に
被接種者に該当・非該当の
情報配信を実施

ヘルスケアの多様なニーズに応えるプロフェッショナルを育成



治験を進める

CRA 約1,000名

治験施設をサポートする

CRC 500名以上

医薬情報提供を行う

MR 600名以上



医薬品開発・製造・販売支援から
ヘルスケア領域まで
シミックの事業を担う

約**8,000**人の社員



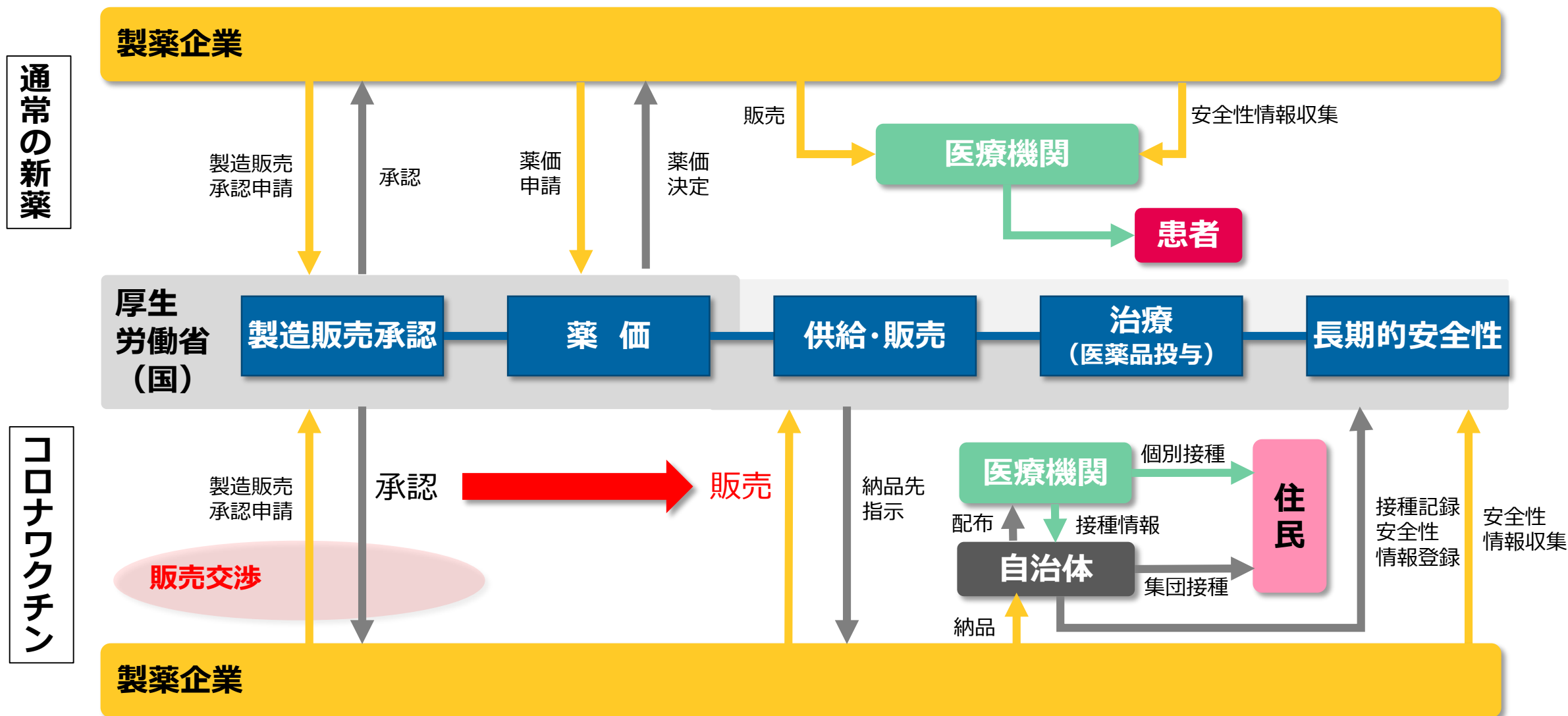
シミック独自の社内研修・認定制度
(2021年2月～)



CMIC Healthcare
Professional

- ヘルスケアプロデューサー
- ヘルスケアアドバイザー
- ヘルスケアパートナー

コロナワクチン接種が変えたステークホルダー



コロナによる社会への様々な影響

NHK

2021年5月11日

“国の借金” 1216兆円余
この1年で100兆円超の増加
5年連続で過去最大を更新



一般社団法人

日本経済団体連合会

2021年7月15日

2020年、訪日外国人旅行者数・
消費額が約85%減、
国内宿泊旅行者数約48%減

読売新聞

2021年2月26日

コロナ禍で介護施設窮地、
昨年倒産最多 利用減少
や職員離職



日本総研
The Japan Research Institute, Limited

2021年5月28日

コロナ禍の雇用・所得環境
－女性に偏る悪影響とその背景

thejapantimes

2021年6月13日

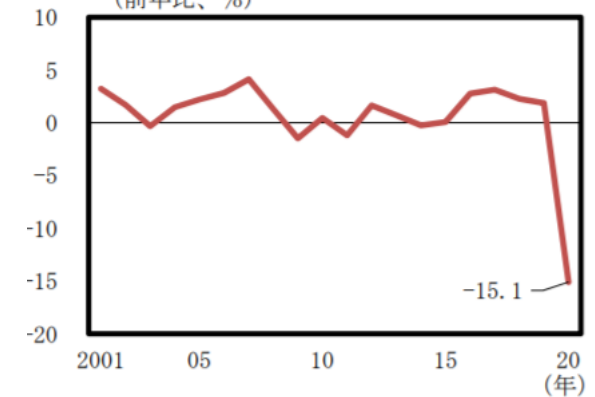
Mental health during the pandemic: ‘A lot
of us feel like we’re in a dark tunnel’
Japan’s mental health is in crisis, without
concrete solutions in sight



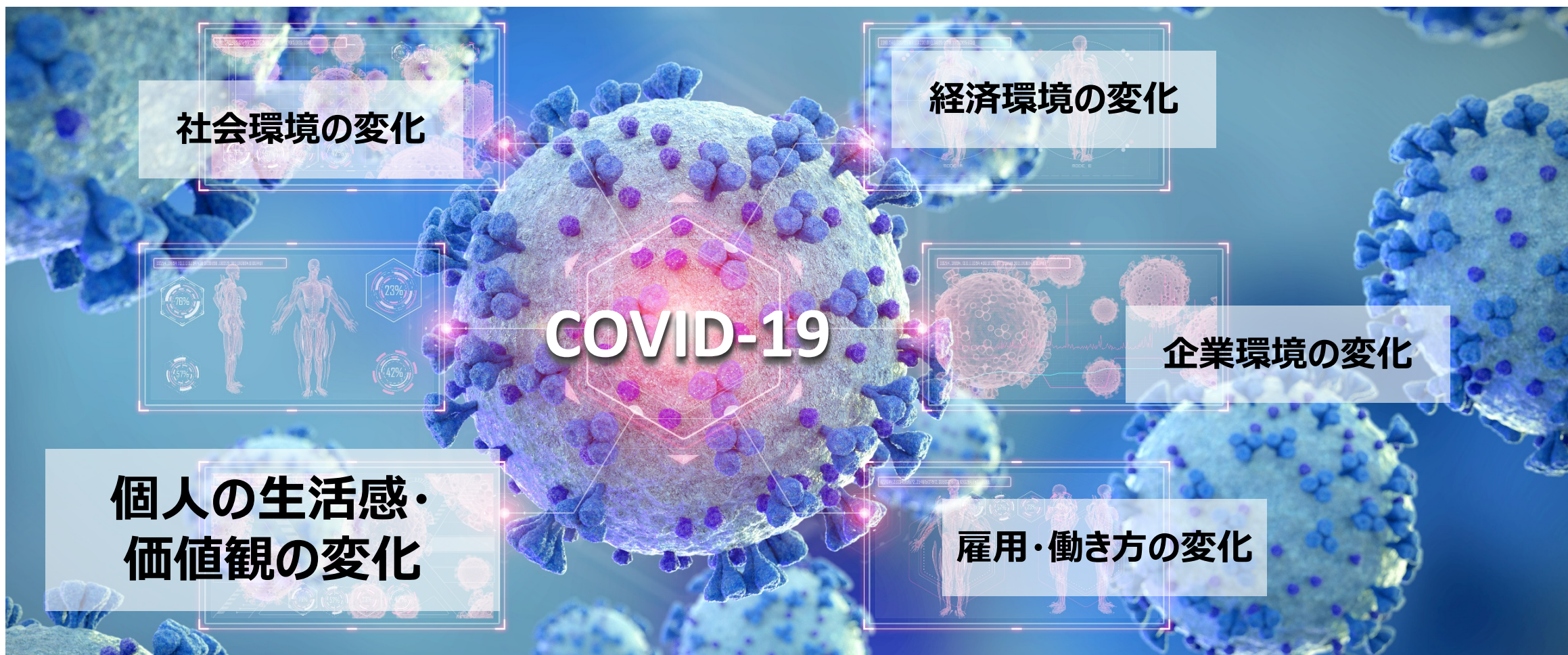
内閣府
Cabinet Office

2021年4月30日

飲食店の売上の大幅な減少
(前年比、%)



コロナによる急激な環境変化



人類史上最大の危機



CMICの想い —Healthcare Revolution—

CMICの想い —Healthcare Revolution—



Personal Health Value



2015年制定

私たちの決意

一度しかない人生を、年齢や性別、人種に関わらず、
誰もがその人らしくまっとうしていくために、ヘルスケア分野に
革新をもたらすことを、シミックグループの志とする。

まばゆい成長力を開花させる幼年でも、人生を成熟させていく老年でも、
今この瞬間を生きようとする願いは、どれも等しく尊い。
そのすべてをひとつたりとも見過ごすことなく、正面から受けとめていきたい。

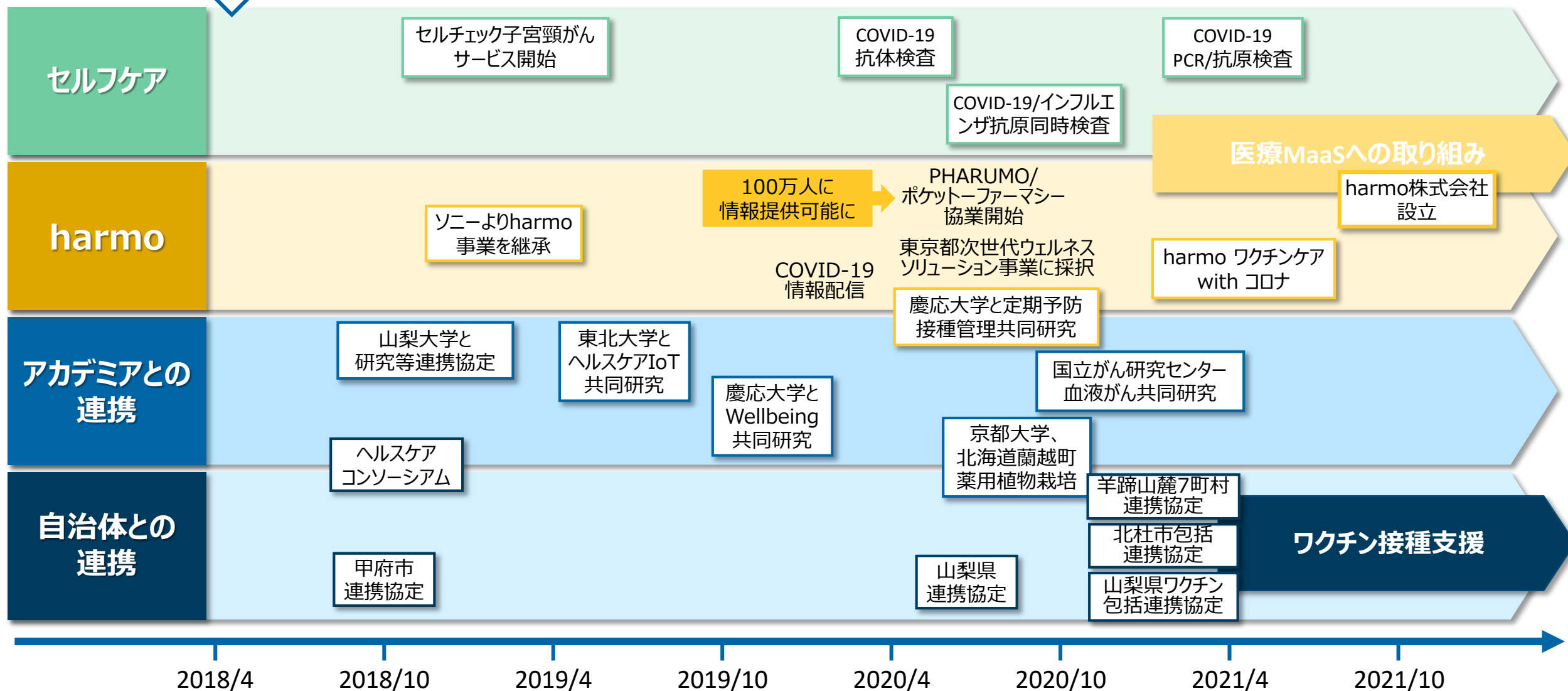
そのために私たちは、いついかなるときもより良い未来を求める挑戦者でいたい。
そして、自己を変革し、新たな視点を獲得することで、
自らのゆるぎない情熱を価値に変えて、人や社会に提供し続けていく。

PHVC = 個々人の健康価値に基づいた
ヘルスケアサービスの提供

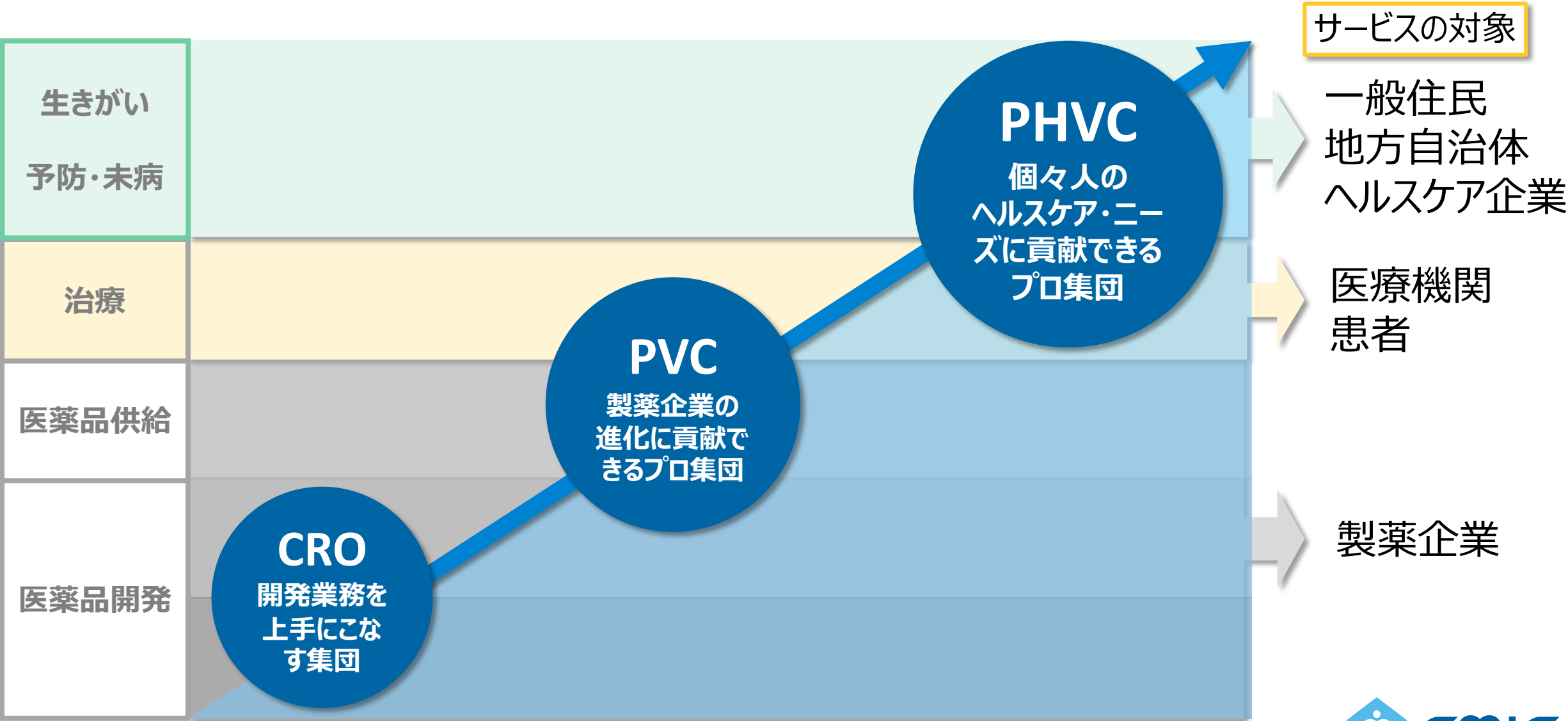
従来の医療に基づく治療、予防、未病といった
既存概念ではない

ヘルスケア領域におけるシミックの歩み

Healthcare Revolution 2.0



CMICの進化



ヘルスケアにおけるデジタル技術導入事例



ワクチンアプリ 7町村合同導入

羊蹄の首長会議方針

【ニセコ】羊蹄山麓7町村の町村長会議が30日、町役場で開かれ、新型コロナウイルスなど、住民のワクチン接種状況を一元管理できるスマートフォンアプリを7町村合同で導入する方針で合意した。7町村は近く、実施主体となる協議会を立ち上げ、具体的な導入時期や手法を検討する。

導入するのは製薬開発支援大手のシミックホールディングス（HD、東京）が開発したアプリ。7町村は



ワクチンアプリの導入を決めた羊蹄山麓7町村長会議

2月、同社と包括連携協定を締結し、ワクチンの集団接種会場運営などで同社の協力を受けている。

アプリはスマートフォンにダウンロードし、医療機関に設置するタブレットと連携。患者は過去の接種記録やワクチンの種類、ロット番号、次の接種日などをいつでも確認できるほか、ワクチンに不具合が生じた場合には当該患者に通知がされる。

アプリは新型コロナウイルスのほか、結核予防のBCG接種などにも対応。医療機関側もワクチンの有効期限や接種履歴を一括管理できるため、誤接種の可能性も減らせるという。ニセコ町の片山健也町長は「コロナワクチンの3回目接種や子供の健康管理を高い精度で進めたい」と話す。（高橋祐二）

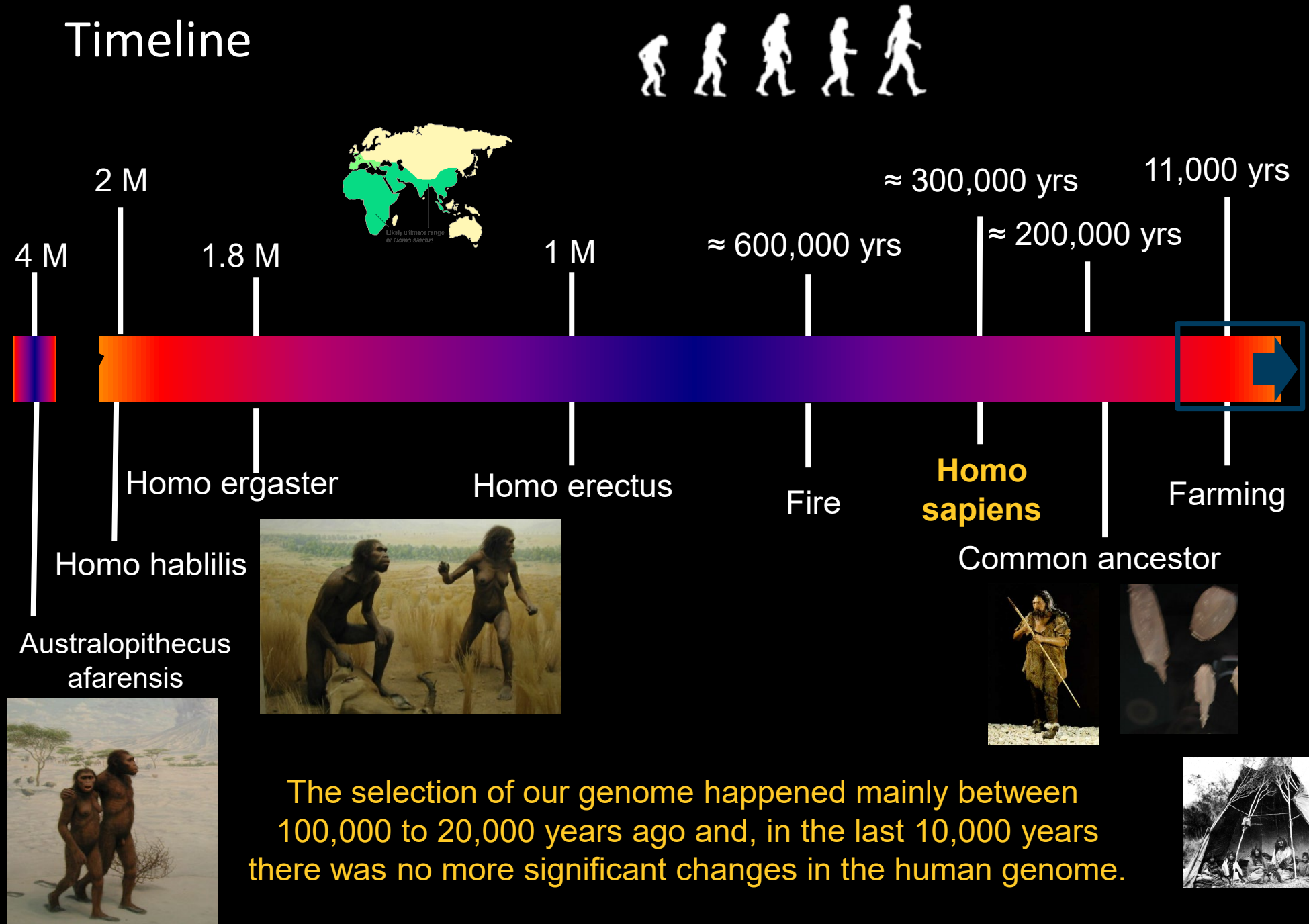
日本経済新聞

シミックHDとモネ、医療分野のMaaS活用支援
(2021年4月15日)



(出展: 北海道新聞 8/30/2021)

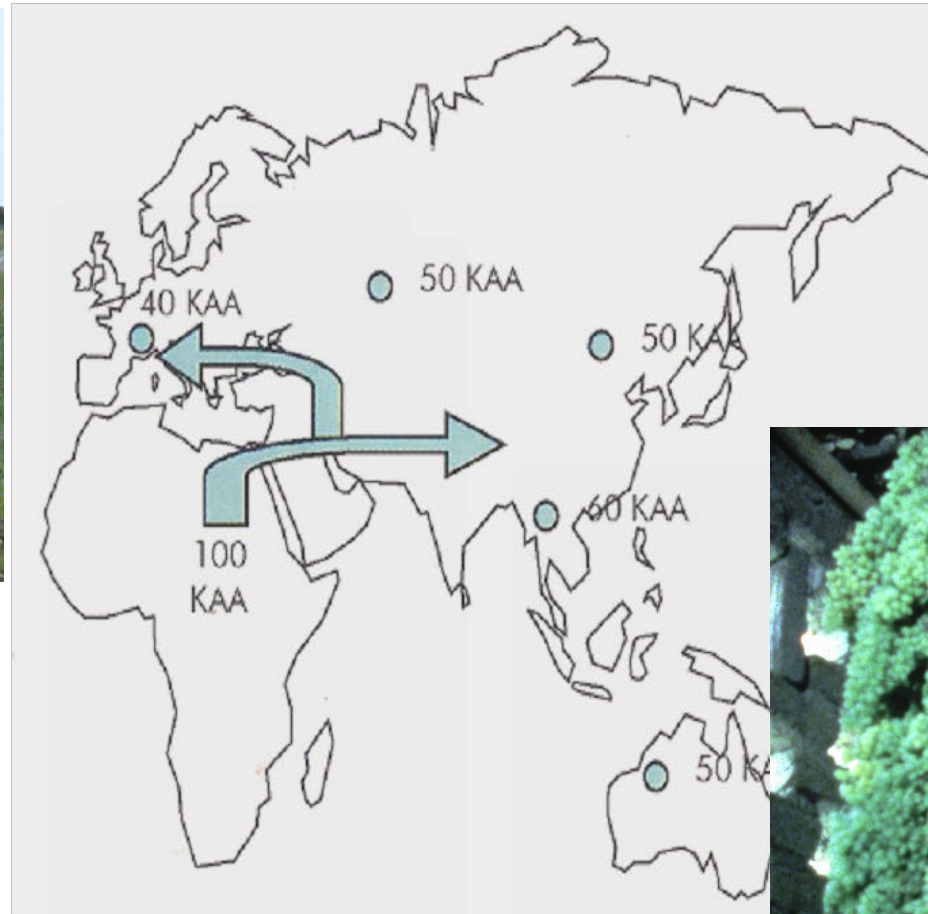
Timeline



The Evolution of *Homo sapiens*



Caucasian



Asian

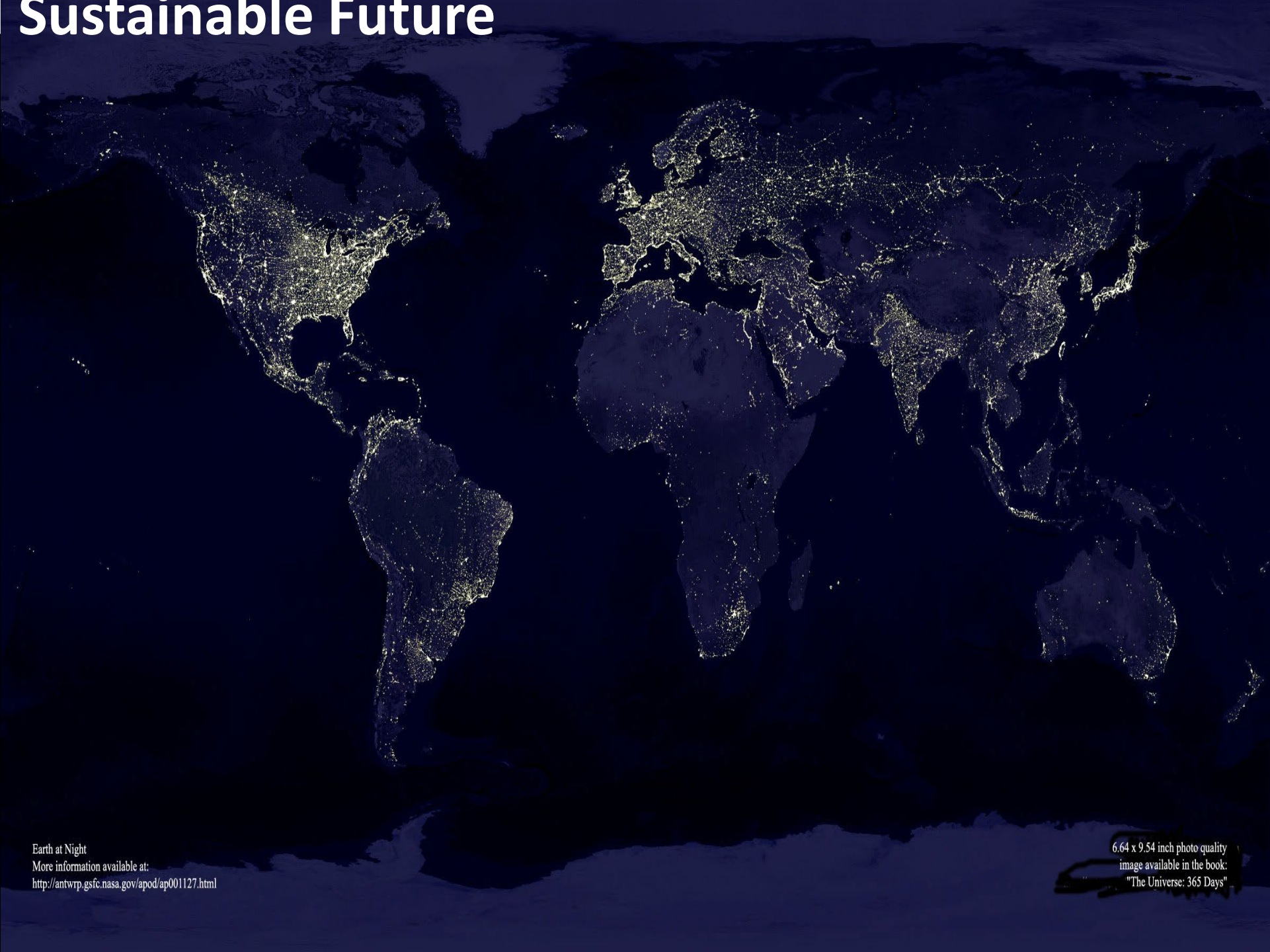


Contributions of Molecular Archeology to Paleoanthropology

Krings M at al. A view of Neadertal genetic diversity. Nat Genet 2000; 26: 144-146

CONFIDENTIAL

Toward Sustainable Future



Earth at Night
More information available at:
<http://antwrp.gsfc.nasa.gov/apod/ap001127.html>

6.64 x 9.54 inch photo quality
image available in the book:
"The Universe: 365 Days"



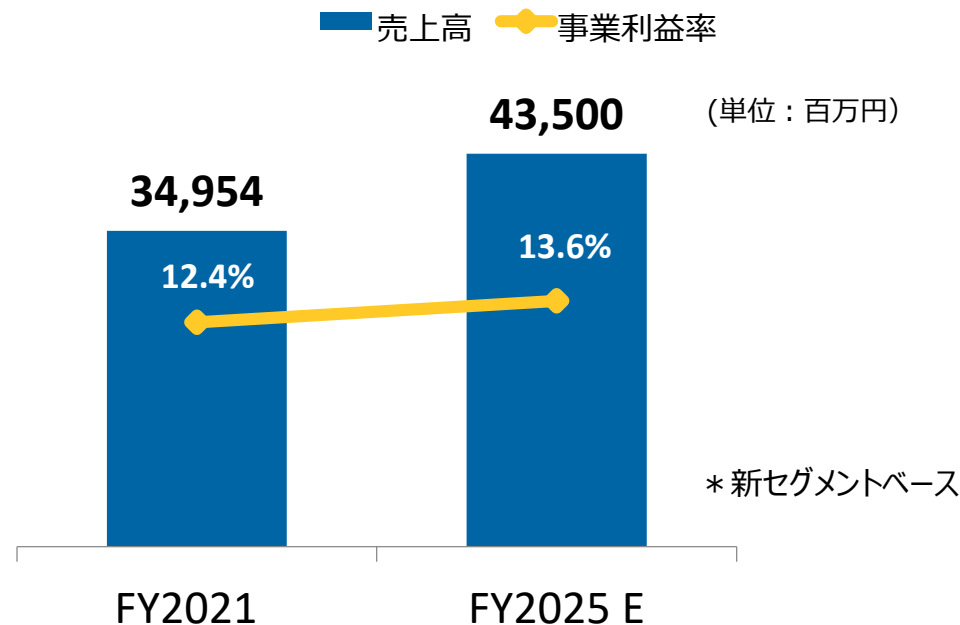
事業セグメント別計画

事業セグメント — CRO事業 —

疾患予防・治療の研究開発を総合的に支援する事業

シミックの特徴

- 幅広い疾患領域の実績
- 国内最大規模の薬事コンサルティング機能
- 非臨床から製造販売後まで、フルファンクションサービス提供
- 国内外の多様な顧客基盤
- Oncology、CNS、再生医療などの領域別およびデジタル化を通じた新サービス



事業環境

- 新規モダリティを利用したアンメットニーズ分野の開発が増加
- 国際共同治験の増加と、日本ローカル治験の減少
- 開発案件の小型化、製造販売後案件の増加
- Real World Data(RWD)活用
- RPA、AI活用による定型/非定型業務の生産性向上
- 開発のGlobal化のためのアライアンス

重点取組事項

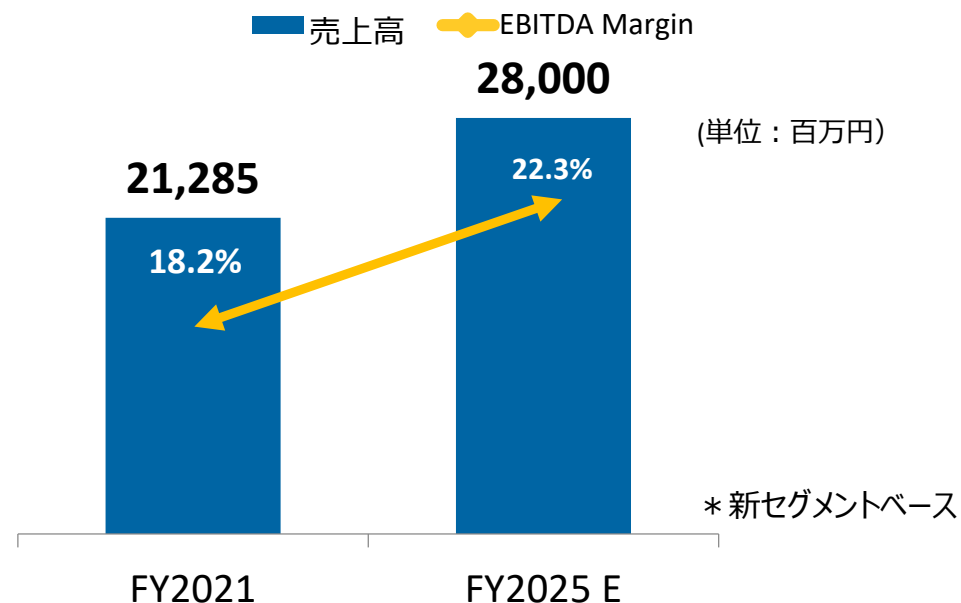
- バイオ・再生医療等の先端領域の開発支援強化
(アカデミア・BVから承認申請をフルサポート)
- DCTやRWDなどデジタル活用
- 日米ラボ連携による核酸医薬の積極的受託
- 多国間試験の積極的受託
(アジア共同治験、日米バイオ測定ビジネス)
- US、アジアビジネス展開
- 国内市場におけるNo.1シェア目標

事業セグメント — CDMO事業 —

治験薬から商用まで医薬品製剤ならびにバイオ原薬の開発・製造支援事業

シミックの特徴

- 規模、専門性および幅広い製剤対応力
- 連続生産やマイクロニードル等製剤技術向上
- 製剤開発段階からの一貫したサービス提供
- アメリカと日本におけるシームレスなサポート
- DBJとのJVによる事業基盤の強化



※ 事業利益 0% FY2021 5.7% FY2025 E

事業環境

- 国内製造委託の増加
- 国内製薬業界の製造拠点見直し
- 薬価改定による受託生産数量の減少
- バイオ医薬品等への対応
- 注射剤が引き続き高成長
- 後発医薬品の国内安定供給課題

重点取組事項

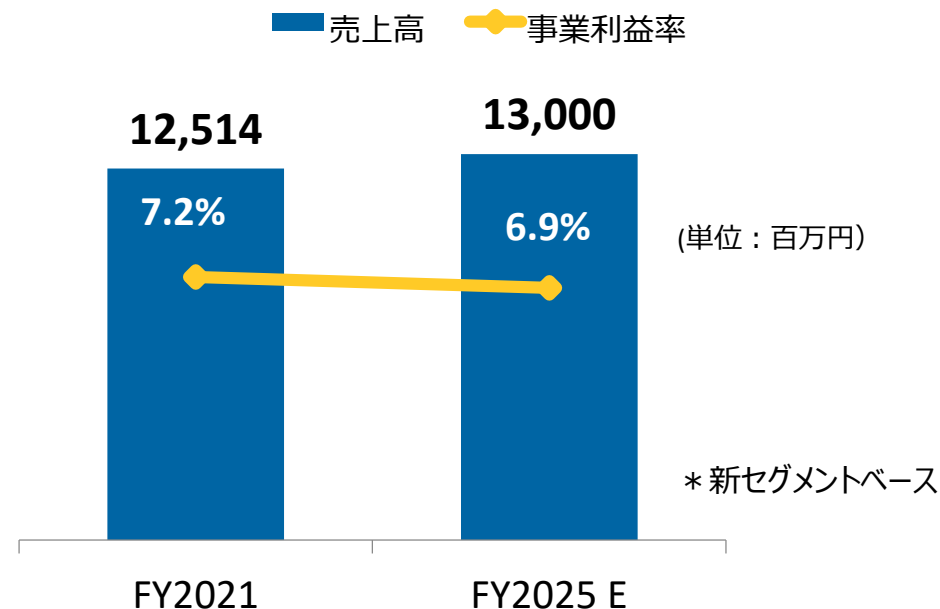
- 足利注射剤棟生産の確実な実施と収益貢献
- 製剤技術のライセンス事業の本格展開
(マイクロニードル他)
- US新サイトでの業務拡大
- 国内製薬企業の戦略的パートナーとしての位置づけ強化

事業セグメント – Market Solutions事業 –

医薬品等のメディカル・営業・マーケティング支援事業ならびにオーファンドラッグ等の開発・製造販売・流通事業

シミックの特徴

- マルチチャネルサービスによる提案型CSO
- コントラクトMR 業界No.2のポジショニング
- 提案型CSOとしての顧客認知力の上昇
- 承認取得・販売実績
- アカデミア・バイオベンチャーのシーズ 上市支援
- 海外企業の日本導出支援



事業環境

- オーファンドラッグ領域が成長
- 長期収載品切り出しによるCMR需要減少
- 専門性ニーズの高まり (MSL)
- 地域包括ケアの進展によるプロモーションの変化

重点取組事項

- MR派遣ビジネスでのポジショニング拡大
- MR、MSLの効率的採用
- ハイブリッド方サービスの提供
- マルチチャネルの促進

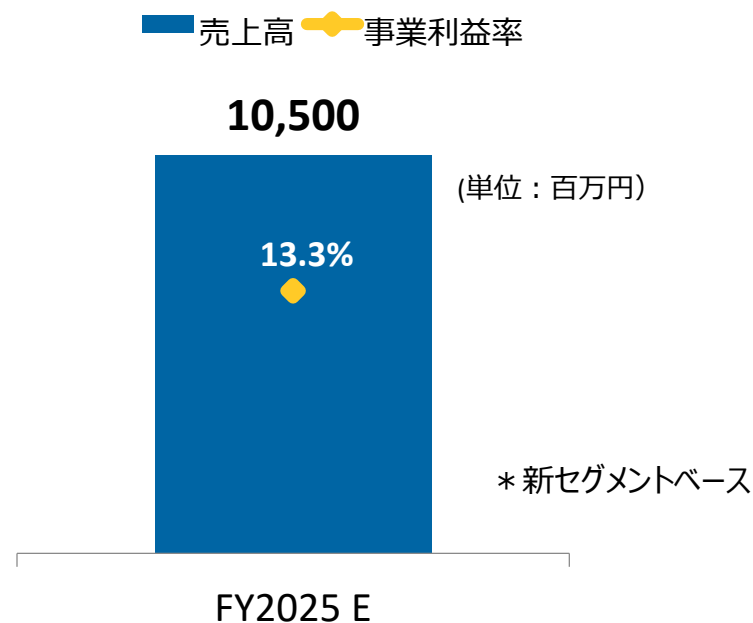
事業セグメント – Site Support Solutions事業 –



医療関連施設および医療従事者を総合的に支援する事業

シミックの特徴

- 医療機関ネットワークと専門性の高い人材の育成
- 生活習慣病等の大規模試験から難治性・希少疾患まで幅広い領域の実績
- 大規模施設、大学病院のネットワーク拡大



事業環境

- 開発案件の小型化・複雑化
- 新たなテクノロジーを活用した新規サービスの増加
- RPA、AI活用による定型/非定型業務の生産性向上
- ヘルスケアサービスの新規参入やアライアンス増加

重点取組事項

- 治療から予防・予後マーケットへの展開
(予防治療薬やアプリ治験)
- 大学病院ネットワーク等への支援
- 地域医療におけるサービス提供

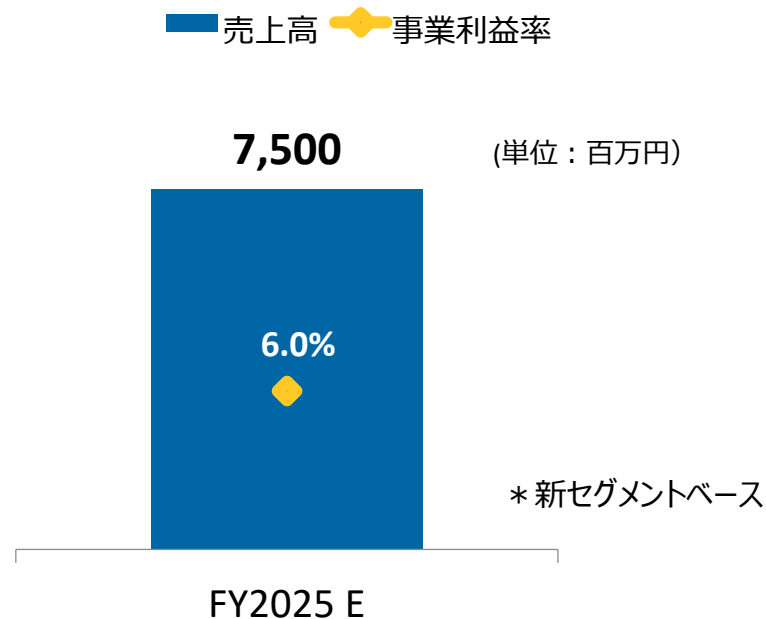
事業セグメント –Healthcare Revolution事業–



個人および自治体等にヘルスケアの新たなエコシステムを用いたソリューションを提供する事業

シミックの特徴

- ワクチン接種事業による自治体、企業とのネットワーク
- 人財事業のリソース効率化
- 人財とharmoを中心とするヘルスケア・デジタル・プラットフォームの構築



事業環境

- 地方自治体を中心にヘルスケア・ビジネスのニーズ拡大
- デジタルの一層の進展

重点取組事項

- harmoを使ったヘルスケアサービス拡大とデータ利活用
- 自治体、企業向けヘルスケアサービスの拡充
- セルフチェックサービスの展開（がん等）
- ヘルスケア人財の育成、確保



利益配分に関する基本方針

利益配分に関する基本方針



当社は、株主の皆様への利益還元を経営上の重要政策の一つと位置付け、収益力向上や事業基盤強化のための内部留保を確保しつつ、業績に応じた配当を実施することを基本方針とし、**連結配当性向の目標を30%**とすると同時に継続的かつ安定的な配当を実施いたします。

なお、安定的な配当につきましては、当面、年間配当金の下限を10円とします。

内部留保資金の使途につきましては、経営環境の変化に対応し得る企業体質の強化を図るとともに、持続的な成長を実現するために設備投資や開発投資などに活用していく所存です。



本資料お取り扱い上のご注意

本資料で記述されている将来予測等は、当社が現在得ている情報をもとになされた当社の判断に基づくものであり、既知あるいは未知のリスクや不確実な要素が含まれています。実際の結果は、様々な要因によりこれら将来に関する記述内容とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

医薬品（開発中のものを含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。